

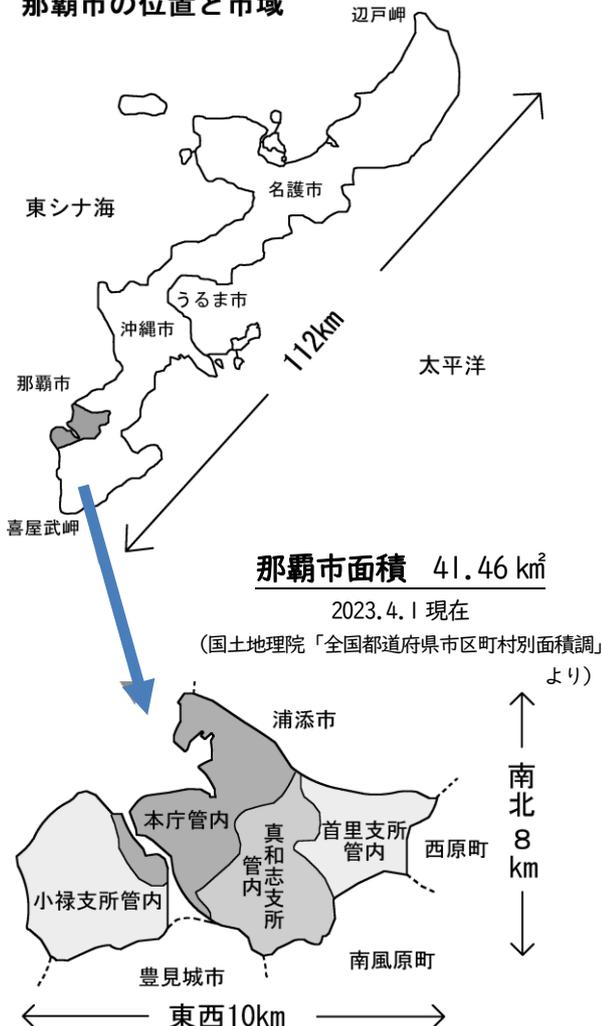
那覇市の概要

(1) 位置と地勢

古くから南島、琉球と呼ばれ親しまれてきた沖縄県は、沖縄本島、宮古島、八重山島を中心とする多くの島々からなる島しょ県である。全島の面積は約2,282.08km²(国土地理院 2023年7月1日時点)、県北端の硫黄島から南端の波照間島まで南北約400km、東端の北大東島から西端の与那国島まで約1,000kmの広大な海域に展開する。

那覇市は、沖縄本島の南部に位置し、地勢的には、標高165.6mを頂点とする首里台地から西方の慶良間諸島を臨む海洋へとゆるやかに傾斜する平坦部に、北方の天久台地、南方の識名台地に囲まれるなかで国場川、久茂地川、安里川の各河川が那覇港、泊港に注ぐ。那覇市はその入江を中心に発達した都市である。

那覇市の位置と市域



(2) 自然と気候

沖縄は全県域が亜熱帯性気候に属し、那覇市の平均気温は23.7℃※、真夏は28～29℃、真冬は16～17℃で、夏と冬、昼と夜の気温差が鹿児島島より小さく夏は比較的涼しく、冬はあたたかい特性を持つ。

それは、広大な海に囲まれた亜熱帯海洋性気候が夏の暑さをやわらげ、降雪のない冬をもたらせているからである。

10月から北よりの季節風が翌年3月まで吹き、4月から9月までは南よりの風がふく。夏から秋には台風が通過し、年降水量は2,996.5mm※となっている。

この亜熱帯海洋性気候の自然と風土のなかで村落が形成され、これを伝統的基盤として都市が発達してきた。

(※数値は2022年の平均値 沖縄気象台HPより)

(3) 人口と産業

1921年(大正10年)に市制が施行されたとき 63,000余人であった那覇市の人口は、以後徐々に増加を続けていたが、1944～45年(昭和19年～20年)の沖縄戦で、市域の90%を焼失し、8,000余人に激減した。

戦後那覇は、米軍の全面占領下におかれ、立入禁止区域となっていたが、1945年(昭和20年)11月産業復興の名目で陶器製造産業先遣隊が壺屋一帯に入域して以来、民政府など中央機関が那覇に移転し、旧那覇市街が漸次開放されるようになり、市民の活動も活発になった。

1954年(昭和29年)に首里市、小禄村、1957年(昭和32年)に真和志市と合併して一挙に186,000余人となり、新しい那覇市建設の基盤ができた。

1972年(昭和47年)5月15日祖国復帰が実現し、沖縄県の県都として都市基盤が一層整備された。

現在の人口は約32万人で、平成25年4月1日には県内初の中核市へ移行するなど、沖縄県の政治、経済、文化の中心として発展を続けているところである。

(4) 市章

1921年(大正10年)12月19日制定



”ナハ”の字を円形に図案化し、無限に発展していく那覇市の姿を表しています。

(5) 市民憲章

1964年(昭和39年)1月1日制定

私たちは、那覇市民であることに誇りをもち、みんなで明るく住みよいまちをつくるため、すすんでつぎのことを守りましょう。

- 1 私たちは まちを美しくしましょう
- 1 私たちは 公共物を大切にしましょう
- 1 私たちは 時間を守りましょう
- 1 私たちは 交通道徳を重んじましょう
- 1 私たちは だれにも親切にしましょう

(6) 那覇市の市花・市木・市花木・市魚・市蝶



市花：ブーゲンビレア

オシロイバナ科の常緑茎性低木。
ハイビスカスと同様に熱帯を象徴する花(実際は苞(ほう))で、秋から春の低温気に開花し、色は紫、赤、白、混色と多彩。乾燥にも強く鉢植えや日陰棚、ビルの壁面緑化、生垣などにも用いられます。

1983年(昭和58年)10月1日制定



市魚：マグロ

スズキ目・サバ科マグロ属に分類される硬骨魚類の総称。暖海性で海洋性、回遊性の大型肉食魚。県内一位の水揚げを誇っています。

2010年(平成22年)8月17日制定



市木：フクギ

オトギリソウ科の常緑高木。
幸福や繁栄をもたらすといわれ、防風・防火樹にもなり、樹液は古くから植物染料として利用されています。円錐状の樹冠は濃緑色の枝葉を密生させ、沖縄独特の亜熱帯的景観とよく調和します。

1983年(昭和58年)10月1日制定



市花木：ハウオウボク

マメ科の落葉高木。樹高10~15m。
花は中国の伝説の鳥、鳳凰に似ているため名付けられたマダガスカル原産の花木。花の色は赤とオレンジがあり梅雨明けから10月ごろまで開花します。戦後植栽され、堂々とした樹冠は涼しい木陰をつくり、庭園樹や公園樹として利用されています。

1983年(昭和58年)10月1日制定



市蝶：オオゴマダラ

チョウ目タテハチョウ科マダラチョウ亜科に分類される日本最大の蝶。さなぎは鮮やかな黄金色で、優雅に舞う姿から、別名「南国の貴婦人」と呼ばれています。

2014年(平成26年)3月1日制定

沿革

- 1947年8月9日 沖縄中央図書館（本館長・城間朝教）が知念民政府構内に設置される。
（昭22）
- 1951年2月7日 居所を転々とした沖縄中央図書館は崇元寺跡に米軍予算で建設され、那覇琉米文化
（昭26） 会館（館長・城間朝教）となる。
- 1956年1月 中山操館長就任
（昭31）
- 1958年7月 喜久山源栄館長就任
（昭33）
- 1960年6月24日 那覇琉米文化会館が旧与儀農業試験場跡に70,600ドルの米民政府予算で建設され
（昭35） る。鉄筋コンクリート2階建（972㎡）
- 1961年5月 同地に琉米文化会館移転
（昭36）
- 1969年7月 琉大付属病院建設のため、現在地に琉米文化会館を移設
（昭44） 鉄筋コンクリート2階建（1,336㎡）
- 1972年5月15日 本土復帰により、琉米文化会館の施設を日本政府が買い上げ那覇市に無償譲渡し、
（昭47） 「市立那覇文化センター」（所長・外間政彰企画課長兼務）として同年11月3日に
開館される。
- 1973年10月 市立那覇文化センター施設用地（2,562.15㎡）の貸付申請書を沖縄県に提出。
（昭48）11月 赤嶺幸信所長就任
- 1974年2月 平良浩所長就任
（昭49）
- 1975年8月1日 市の組織、機構改編によって教育委員会の所管となり、那覇市立図書館として開
（昭50） 設（設置条例公布）
沢岬寛義館長就任（首里給食センターより転任）
市長部局より5名の職員が配置される。
開館時間 火～日 午前9時～午後7時（月曜日 休館）
- 11月19日 昭和50年度第一回図書館協議会開催、会長・当真重勇氏選出
12月9日 山田有幹文庫開設
- 1976年7月11日 内規「図書整理基準」制定
（昭51）10月27日 移動図書館開館式（11月5日、巡回開始）
11月 寒川自治会、崎山町公民館、城東団地、鏡水公民館、大名第二団地、繁多川公民
館、古島共同住宅、安謝公民館、久米二丁目自治会、宇栄原市営住宅、石嶺市営住
宅、寄宮市街地分譲住宅、大名市営住宅、小禄バプテスト、鳥堀クラブ、移動図書館
ステーション開設
- 12月15日 移動図書館車名「青空号」に決定。
一般公募 500件 354種の中から上里光也君（与儀小3年）が当選
- 1977年1月25日 那覇市史編集室移転、その跡に移動図書館車用書庫を設置
（昭52）3月25日 本館増築（移動図書館車車庫57.945㎡）

- 4月25日 参考資料室（郷土資料室）を設置
12月27日 初の移動図書館世話人会開催
- 1978年3月31日 「館報」第一号（館報'77）を発行
(昭53)10月18日 団体貸出し開始
- 1979年5月1日 外間政彰館長就任
(昭54)6月29日 山田有功文庫、800冊寄贈を受ける。
8月24日 泊新屋敷移動図書館ステーション開設
8月30日 天久自治会 //
- 1980年4月1日 泊こがね森移動図書館ステーション開設
(昭55)5月10日 ホノルル・那覇姉妹都市20周年記念の際、F・F・ファシ・ホノルル市長を通じて那覇市立図書館からホノルル市立図書館へ沖縄の絵本15冊を贈呈する。
6月26日 戦争と平和関係図書コーナー開設
7月2日 琉球団地移動図書館ステーション開設
7月7日 那覇市立図書館条例施行規則一部改正（開館時間をつぎのとおりに変更）
開館時間 火～金 午前10時～午後7時
土・日 午前10時～午後5時（月曜日 休館）
7月11日 石嶺ビレッジ移動図書館ステーション開設
7月15日 那覇市立図書館条例施行規則（一部改正）施行
国場公民館移動図書館ステーション開設
10月11日 那覇市立図書館条例一部改正
那覇市立図書館から那覇市立中央図書館へ名称変更
10月28日 図書寄贈運動を展開、市民、篤志家から寄贈を受ける。
12月25日 図書館だより第1号を発刊
- 1981年5月18日 久茂地図書館開館（分館第1号）
(昭56) 開館時間 火・水・金 正午～午後7時
土・日 正午～午後5時（月・木曜日 休館）
5月29日 第1回おはなし会開催
9月28日 第1回なしと講座開催（'80年代の新しい図書館像）
講師・平湯文夫氏（長崎純心女子短大助教授）
10月1日 第1回なしと映画会開催「映画の誕生」他
10月8日 第1回オプタコン・アワー開始
10月27日 第1回1日図書館長実施 1日館長・若尾典子氏
10月28日 真地市営住宅移動図書館ステーション開設
10月29日 西3丁目移動図書館ステーション開設
久米1丁目 //
- 1982年5月22日 点字図書コーナー開設
(昭57)10月29日 読書週間記念講演「情報化社会における図書館の役割」
講師・志村尚夫氏（図書館情報大学助教授）
- 1983年4月1日 県有地（1,703.90㎡）の賃貸借契約締結
(昭58)6月1日 小禄南図書館開館（分館第2号）
※開館時間については、久茂地図書館と同じ
10月23日 若狭市営住宅移動図書館ステーション開設
11月20日 田原自治会 //
- 1984年1月10日 那覇市立図書館各分館の開館時間をつぎのとおり変更
(昭59) 開館時間 火・水・金 正午～午後6時
土・日 正午～午後5時（月・木曜日 休館）

- 1月31日 木登り子供会移動図書館ステーション開設
- 3月3日 首里図書館開館（分館第3号）
- 3月25日 首里図書館開館記念講演「郷土芸能との出会いー玉城朝薫の人間像と組踊」
講師・池宮正治氏（琉球大学教授）
出演・宮城美能留歌舞団
- 3月26日 「那覇市の図書館計画」（日本図書館協会委託）報告書答申
- 4月1日 篠原英一館長就任（教育委員会総務課より）
- 7月21日 石嶺ハイツ自治会移動図書館ステーション開設
- 9月1日 視聴覚ライブラリー併設
- 1985年 4月1日 庶務、奉仕、BMにそれぞれ主査を配置
(昭60) 10月26日 曙県営住宅移動図書館ステーション開設
- 10月31日 首里図書館へ琉球大学より1,000冊寄贈を受ける。
- 11月2日 大橋県営住宅移動図書館ステーション開設
- 11月14日 コンピュータ導入検討会議を設置
- 12月18日 第1回公共図書館職員交流会
- 1986年 5月24日 牧志児童公園移動図書館ステーション開設
(昭61) 7月26日 安岡県営住宅 //
- 8月7日 那覇市立図書館各分館の開館時間をつぎのとおり変更
開館時間 火～金 正午～午後6時
土 正午～午後5時
日 午前10時～午後5時（月曜日休館）
- 11月22日 古波蔵第二県営住宅移動図書館ステーション開設
- 1987年 4月1日 中央図書館に係制を導入。総務係に係長・主査、奉仕第一係と奉仕第二係にそれぞれ係長を配置する。
(昭62) 4月1日 久茂地・小禄南・首里図書館の主査を改め、それぞれ分館長を配置する。
- 4月15日 久茂地図書館事務所を2階へ移転する。
- 7月11日 公務員住宅首里第二移動図書館ステーション開設
- 7月26日 三重城県営住宅 //
- 8月8日 上間県営住宅 //
- 8月23日 松川県営団地 //
- 1988年 4月1日 総合目録（カード式）全館書名カードを中央図書館に設置
(昭63) 6月4日 小禄市営住宅移動図書館ステーション開設
- 6月25日 那覇市立図書館資料除籍基準（内規）作成
- 7月22日 図書館整理業務規程（内規）及び書名の取り扱い基準（内規）作成
- 10月16日 石嶺3丁目移動図書館ステーション開設
- 1989年 1月6日 文化会館時代図書資料が中央図書館から小禄南図書館へ一時移管。
(昭64) 一般図書 8,648冊
洋書 7,624冊
視聴覚資料 1,293冊
- (平成) 3月18日 第1回那覇市立図書館利用団体・文庫団体連絡会開催
- 4月1日 天久匡館長就任（教育委員会文化課より）
- 4月19日 若狭図書館（仮称）の建設計画に伴う地域住民のアンケート調査実施
- 6月10日 大量寄贈図書（具志頭得助、石川正通、山城善三氏）8,000冊を整理
- 7月21日 古波蔵自治会移動図書館ステーション開設
- 7月28日 公務員宿舍首里第1 //
- 11月30日 平成元年度全国移動図書館研究集会（第17回那覇大会）開催
- 1990年 1月11日 若狭図書館（仮称）に関するアンケート調査集計結果報告書発行
(平2) 4月24日 儀間常博氏レーニン全集外1,452冊寄贈

- 5月1日 那覇市立図書館各分館の開館時間をつぎのとおり変更
開館時間 火～金 午前11時～午後6時
土・日 午前11時～午後5時 (月曜日 休館)
- 6月16日 赤嶺県営住宅移動図書館ステーション開設
6月30日 末吉団地 //
- 7月6日 国場県営住宅 //
- 7月7日 壺川市営住宅 //
- 8月6日 川平朝申氏郷土資料大量寄贈
- 10月8日 那覇市立小・中学校図書館状況調査実施
- 10月26日 「那覇市立図書館資料収集方針」策定
- 1991年3月9日 本部町立図書館協議会来館視察
(平3) 3月23日 古島若夏子供会移動図書館ステーション開設
3月31日 中央図書館増築完成(86.02㎡)
4月1日 伊元源治館長就任(小祿南公民館より)
7月27日 石嶺がじまる広場移動図書館ステーション開設
11月1日 若狭図書館設置条例制定される(供用開始は1992年(平4)6月3日)
若狭図書館の準備要員が配置される。
- 1992年3月19日 若狭図書館の建物が完成
(平4) 3月25日 那覇市立小・中学校図書館状況調査報告書発行
3月31日 久茂地図書館10周年記念誌発行
4月1日 那覇市立図書館各分館の開館時間をつぎのとおり変更
開館時間 火～金 午前11時～午後7時
土・日 午前11時～午後5時 (月曜日 休館)
4月30日 中央図書館閲覧室拡張工事、パテーション設置(83㎡)
5月7日 首里図書館コンピューター導入作業開始
6月3日 若狭図書館開館(分館第4号)
7月25日 わんぱく公園移動図書館ステーション開設
- 1993年2月16日 首里図書館コンピューター導入作業完了 電算による貸出業務開始
(平5) 3月9日 首里・若狭図書館間のコンピューターネットワーク化完了
4月1日 那覇市立図書館各分館のうち、小祿南図書館、首里図書館の開館時間をつぎのとおり変更
開館時間 火～金 午前10時～午後7時
土・日 午前10時～午後5時 (月曜日 休館)
※なお、この開館時間は、中央図書館と同じである。
4月24日 汀良町市営住宅集会所前移動図書館ステーション開設
5月1日 小祿南図書館コンピューター導入作業開始
12月4日 移動図書館車新「青空号」設置
- 1994年2月16日 小祿南図書館コンピューター導入作業完了 電算による貸出業務開始
(平6) 4月15日 久茂地図書館コンピューター導入作業開始
4月19日 移動図書館車「青空号」全国に先駆けて、ベストセラーコーナー設置
11月20日 パレット久茂地前にて'94BMまつり開催
- 1995年2月16日 久茂地図書館コンピューター導入作業完了 電算による貸出業務開始
(平7) 4月1日 佐久本全館長就任(中央公民館より)
中央図書館・移動図書館コンピューター導入作業開始
4月9日 識名自治公民館(むらやー)移動図書館ステーション開設
6月1日 石嶺図書館(仮称)準備要員が配置される。
- 1996年3月16日 中央図書館コンピューター導入作業完了 電算による貸出業務開始

- (平8) 4月2日 移動図書館コンピューター導入作業完了 電算による貸出業務開始
6月1日 石嶺図書館開館(分館第5号)
10月 移動図書館が開館20周年を迎える
パソコン通信N A H Aあけもどろネットへ図書館情報提供開始
- 1997年1月5日 久茂地図書館拡張工事のため休館
(平9) 3月1日 久茂地図書館新装オープン
3月31日 移動図書館“青空号”20年の軌跡発行
- 1998年1月11日 首里図書館コンピューター入れ替え
(平10) 4月1日 若狭図書館コンピューター入れ替え 新刊全件マーク導入
- 1999年4月1日 新垣敏光館長就任
(平11) 5月 那覇市立図書館インターネットホームページ開設
8月21日 県営上間第二市街地住宅移動図書館ステーション開設
- 2000年3月 少子化対策臨時特例交付金により、児童コーナー整備(中央・久茂地)及び児童室
(平12) の増築(小祿南)を行う。
6月3日 美田県営団地子供図書館移動図書館ステーション開設
10月25日 第86回全国図書館大会が那覇市にて開催される。(～27日)
12月1日 市立図書館コンピュータシステムの入れ替えに伴い、全館において貸出制限び臨時閉館を実施する。(～1月19日)及
- 2001年1月19日 「那覇市立図書館インターネット端末利用規程」(内規)の作成
(平13) 1月20日 コンピュータシステムの入れ替え完了により、全館において図書館業務を開始。
インターネットの端末利用の開始。
ブックディテクションシステムの導入(中央)
3月1日 市立図書館業務の見直し・改善を実施する。(貸出冊数の制限を撤廃するほか)
8月3日 樋川自治会移動図書館ステーション開設
9月3日 沖縄県図書館総合目録システムが稼働する。
(現参加団体は県立図、那覇市立図で検索データ量は合計100万件)
- 2002年3月20日 「那覇市立図書館資料リサイクル事業実施要綱」の策定
(平14) 3月23日 松島自治会移動図書館ステーション開設
4月26日 第1回那覇市立図書館資料リサイクル事業の実施
7月21日 那覇市立図書館全館の開館時間を、当分の間午前10時から午前9時に変更する。
(平成14年7月17日 教育長決裁)
10月/11月 那覇市立図書館おはなしボランティア養成講座開講する。
- 2003年4月1日 那覇市立図書館全館の開館時間をつぎのとおり変更
(平15) (平成15年3月14日 教育長決裁)
開館時間 火～金 午前9時30分～午後7時
土 午前9時30分～午後6時
日 午前9時30分～午後5時(中央図書館のみ午後6時)
(月曜日 休館)
※なお、夏季休業期間の開館時間は午前9時
4月1日 入慶田本浩徳館長就任(市長部局より)
6月4日 学校図書館資源共有型モデル地域事業に関する搬送システム開始(学校教育課と連携)
7月27日 那覇市子育て支援ブックスタート事業開始(健康推進課、こども課、社会教育・スポーツ課と連携)
12月18日 「那覇市立図書館インターネット端末利用規程」(内規)を廃止し、「那覇市立図書館インターネット端末利用要領」制定

2004年4月1日	宮良恵次館長就任（社会教育、スポーツ課より）
（平16）5月19日	那覇市立図書館分館長連絡会および担当者研究会運営要綱作成
5月21日	那覇市立図書館資料除籍基準（内規）改正
7月4日	図書館資料整理業務規程改正
9月24日	那覇市立図書館条例改正
2005年2月5日	県営天久高層住宅移動図書館ステーション開設
（平17）3月11日	那覇市立図書館条例施行規則改正
4月1日	繁多川図書館設置（分館第6号） 県内初、カウンター業務等一部業務委託 受託団体：特定非営利法人ゆいべール・エル（理事長 佐藤敦志） 委託期間：平成17年1月5日～平成20年3月31日 ※開館準備期間を含む
4月2日	繁多川図書館開館
4月30日	国場自治会移動図書館ステーション開設
5月6日	エフエム那覇「ナハぶら！図書館だより」にて広報開始 （毎週金曜日午前10時30分から10分）
8月	図書館アンケート実施（2006年3月報告書作成）
2006年1月	図書館ボランティア活動開始
（平18）2月3日	障害福祉センター移動図書館ステーション開設
3月31日	小禄南図書館保管の琉米文化会館時代図書資料を県立図書館へ移管
4月26日	「平成18年度子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣賞」受賞
5月15日	緑化センター移動図書館ステーション開設
12月1日	市立図書館コンピュータシステムの入替えに伴い、全館において臨時閉館を実施する。（～1月15日繁多川図書館、～19日繁多川以外の図書館）
2007年1月16日	繁多川図書館、コンピュータシステムの入替え完了により図書館業務を開始
（平19）1月20日	コンピュータシステムの入替え完了により、全館において図書館業務を開始。 中央図書館レファレンスカウンター設置 利用者用インターネット端末増設（中央図書館2台）。
2月1日	館内オーパック（図書検索機）での予約開始 住民基本台帳カードを図書館利用者カードとして利用可能になる
3月31日	琉米文化会館時代図書資料を県立博物館へ移管
4月1日	森田浩次館長就任（生涯学習課より） インターネット予約開始、ホームページ新。
5月15日	移動図書館管理運営検討委員会設置（9月27日まで）
11月15・16日	『全国公共図書館サービス部門研究集会』開催（パレット市民劇場）
2008年3月26日	那覇市立図書館資料収集方針改正
（平20）3月28日	那覇市立図書館条例改正（主に移動図書館の廃止） 移動図書館終了式（小禄市営住宅ステーションにて） 移動図書館事業の終了。「那覇市立視聴覚ライブラリー条例」の廃止。
4月1日	久茂地、首里、繁多川図書館の定期休館日を、毎週金曜日に変更 全館の館内整理日を第4木曜日から第3水曜日に変更 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定 受託団体：特定非営利法人ゆいべール・エル（理事長 佐藤敦志） 委託期間：平成20年4月1日～平成23年3月31日
4月23日	拡大読書器、再生録音機の寄贈を受ける。（日本テレビより）
5月21日	代替配送開始。（移動図書館終了に伴う団体貸出）
2009年3月31日	中央図書館へ集密書架設置
（平21）	
12月9日	那覇市立図書館資料収集方針の一部改正

- 2010年3月9日 「相互貸借の借受に関する規程」について変更
 (平22)4月1日 具志真孝館長就任(総合青少年課より)
 10月22日 「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方について方針決定。
- 2011年1月7日 崎間麗進氏より、郷土関係などの資料(約6,000冊)の寄贈を受ける。
 (平23)3月31日 久茂地図書館、施設の老朽化等のため休館
 4月1日 崎山喜代子館長就任(学校教育課より)
 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定
 受託団体:一般社団法人 沖縄県子どもの本研究会(代表者 平田恵美子)
 委託期間:平成23年4月1日~平成26年3月31日
 7月8日 久茂地図書館廃止。
 同日付けて、久茂地図書館の機能移転により牧志駅前ほしぞら図書館を、商業施設・ホテル・公民館との複合施設として設置、開館。
- 2012年1月29日 牧志駅前ほしぞら図書館開館記念事業『おはなしがいっぱい』開催
 (平24)4月1日 石原実館長就任(中央公民館より)
 12月17日 特別整理期間及び市立図書館コンピュータシステムの入れ替えに伴い、全館休館を実施する。(~1月8日)※ホームページからの貸出延長が可能となる。
- 2013年2月10日 「第2回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
 (平25)11月15日 「平成25年度沖縄県公共図書館連絡協議会第3回研修会」(那覇・浦添開催)を那覇市民会館中ホールで開催
 12月15日 「第3回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2014年4月1日 石原昇館長就任(学校給食センターより)
 (平26) 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定
 受託団体:一般社団法人 沖縄県子どもの本研究会(代表者 山内淳子)
 委託期間:平成26年4月1日~平成29年3月31日
 12月14日 「第4回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2015年2月3日 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」運用開始
 (平27)4月23日 「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方について改定
 12月13日 「第5回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2016年4月1日 我那覇生男館長就任(市民スポーツ課より)
 (平28)12月10日 「第6回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2017年4月1日 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定
 (平29) 受託団体:一般社団法人 沖縄県子どもの本研究会(代表者 山内淳子)
 委託期間:平成29年4月1日~平成32年3月31日
 5月16日 視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)へ中央図書館が入会。視覚障がい者等、本を読むことが困難な利用者に対し、サピエからデジータデータをCDにダウンロードして、貸出・譲渡・閲覧することが可能となる
 12月10日 「第7回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2018年4月1日 岸本修館長就任(文化財課より)
 (平30)12月9日 「第8回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
 12月17日 特別整理期間及び図書館コンピュータシステムの入れ替えに伴い、全館休館を実施する。(~1月10日)
- 2019年1月1日 図書館コンピュータシステムの入れ替えに伴い、那覇市行政ネットワークより独立した独自ネットワークを整備
 (平31) 若狭図書館にブックディテクションシステム設置

- 3月18日 ホームページリニューアル
4月1日 大城義智館長就任（市民スポーツ課より）
- (令元) 9月28日 「おもちゃ病院in那覇市立中央図書館」スタート
場所：那覇市立中央図書館
日時：毎月第4土曜日 午前10時から
12月7日 「第9回おはなしがいっぱい」を牧志駅前ほしぞら公民館で開催
- 2020年1月 中央図書館にデイジー図書視聴コーナーを設置
(令2) 2月26日 「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方 の改定
3月2日 図書館サービス利用制限
カウンターまでの入館（予約の受付・予約受取・返却）
3月16日 図書館通常開館
- 4月1日 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定
受託団体：一般社団法人 沖縄県子どもの本研究会（代表者 平良京子）
委託期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日
4月8日 図書館サービス利用制限
カウンターまでの入館（予約の受付・予約受取・返却）
※4/7国の緊急事態宣言発出、3月末から県内感染者増加に伴い図書館利用制限
4月13日 図書館臨時休館
5月21日 図書館サービス再開（利用制限）
カウンターまでの入館（予約の受付・予約受取・返却）
※県の休業要請全面解除、学校再開に伴い制限付き図書館サービス再開
開館時間の短縮 午前9時30分～午後5時（全館）
※職員の感染対策部署応援派遣により、通常の図書館運営が困難となったため
5月25日 休館日週2日 月曜・木曜（中央・小禄南・若狭・石嶺）
火曜・金曜（牧志・首里）
6月1日 図書館サービス利用制限
30分時間制限で館内入館可
座席なし・インターネット不可・雑誌最新号不可・新聞閲覧可
レファレンス所蔵検索のみ可
※学校部活動やスポーツ施設の再開に伴い図書館サービス拡大
6月13日 図書館サービス利用制限
60分時間制限で館内入館可
座席半分程度設置・インターネット可（30分1回のみ）
新聞・雑誌最新号閲覧可
レファレンス可（時間がかかるものは受付用紙に）
※県内の感染状況が落ち着いてきたことに伴い図書館サービス拡大
繁多川図書館の開館時間短縮解除
6月25日 中央図書館の木曜休館解除
6月30日 首里図書館の火曜休館解除
8月2日 図書館臨時休館
すでに予約していた方のみ予約資料の貸出
※7/31県の緊急事態宣言発出、7月下旬頃から県内感染者増加に伴う臨時休館
8月30日 図書館サービス再開（利用制限）
カウンターまでの入館（予約の受付・予約受取・返却）
※県の警戒レベルが4から3に引き下げられたことに伴い図書館サービス再開
小禄南図書館・若狭図書館の木曜休館・開館時間短縮解除
牧志駅前ほしぞら図書館の火曜休館・開館時間短縮解除
中央図書館・首里図書館の開館時間短縮解除
- 9月9日 図書館サービス利用制限

	30分時間制限で館内入館可 座席なし・インターネット不可・新聞閲覧可 レファレンス所蔵検索のみ可 ※9/6県緊急事態宣言解除に伴い図書館サービス拡大
9月12日	通常開館 滞在時間の制限なし 座席半分程度設置 換気・アルコール消毒等を継続し通常開館
9月17日	石嶺図書館の木曜休館解除
9月19日	石嶺図書館の開館時間短縮解除
12月24日	那覇市立図書館有料配送サービス開始
2021年1月21日	図書除菌機を各館に1台設置
(令3)4月1日	高里浩館長就任(市民スポーツ課より)
5月26日	図書館臨時休館 ※5/21国の緊急事態宣言沖縄県適用
7月12日	図書館サービス再開(利用制限) カウンター前までの入館
7月19日	図書館サービス利用制限 60分時間制限で館内入館可 座席半分程度設置、インターネット可(30分1回のみ)、AVブース利用不可 新聞・雑誌最新号閲覧可、レファレンス可(時間がかかるものは受付用紙に)
7月26日	図書館サービス利用制限 カウンター前までの入館 ※沖縄県の新規感染者が拡大
8月1日	図書館臨時休館 9/14～一部業務再開(カウンター前まで入館可)
10月1日	図書館開館(図書館サービス利用制限) 60分時間制限で館内入館可 座席半分程度設置・インターネット可(30分1回のみ) AVブース利用不可・新聞・雑誌最新号閲覧可 レファレンス可(時間がかかるものは受付用紙に) ※国の緊急事態宣言沖縄県適用解除に伴い図書館サービス拡大
2022年3月3日	なはし電子図書館スタート
(令4)3月26日	首里図書館機械室を閉架書庫に整備
4月1日	島袋元治館長就任(学校教育課より)
5月21日	「おもちゃ病院」中央図書館から繁多川図書館に開院場所を変更 日時：毎月第3土曜日 午前10時から午後3時
10月13日	サイバー攻撃により図書館システム利用停止。 ハンディスキャナーで、一人5冊までの貸出制限。
10月14日～21日	貸出停止(閲覧サービスと返却のみの対応)
10月22日	エクセルを利用し、一度に借りられる冊数を3冊までに制限して貸出サービスを再開。貸出希望者は再度利用者登録を行う。(中央・石嶺・繁多川図書館)
10月26日	全館で、上記内容の貸出を再開する。
11月20日	「第10回おはなしがいっぱい」を若狭公民館で開催
2023年1月17日	繁多川図書館・牧志駅前ほしぞら図書館 臨時休館(所蔵調査のため)
(令5)1月18日	首里図書館・石嶺図書館 臨時休館(所蔵調査のため)
1月19日	小禄南図書館・若狭図書館 臨時休館(所蔵調査のため)
1月20日	中央図書館 臨時休館(所蔵調査のため) ※所蔵調査を終えた館から貸出冊数制限を解除し、図書館システム(クラウド型)で貸出を行う。

- 2月16日 予約サービス再開（一人10点まで）
- 4月1日 予約サービスの制限を解除し、図書館システム完全復旧（サイバー攻撃前のサービスに戻る）
- 4月1日 繁多川図書館 委託期間満了に伴う受託団体選定
受託団体：一般社団法人 沖縄県子どもの本研究会（代表者 山内淳子）
委託期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日

2 運営の概要

(1) 奉仕内容

ア 資料の提供

一般書、児童書、郷土資料、行政資料、雑誌、視聴覚資料等を収集し、館外貸出及び館内閲覧による資料提供を行う。また、他市町村図書館等との相互貸借による資料提供を行う。

配本車で各図書館、ブックポスト設置所を巡回し、どの図書館でも貸出（取り寄せ）、返却することができるようにする。

イ リクエスト（予約）サービス

求める資料が館内で得られない時は、その本のリクエスト（予約）を受け付ける。また、インターネット・館内検索機からも予約を受け付ける。

ウ 児童サービス

各館に児童コーナー及びYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、各種児童書やYA図書を配架する他、おはなし会の定期的な開催や、YA世代を対象とした取り組みを行う。また、子ども連れの方も気軽に図書館を利用できるよう「赤ちゃんタイム」の取り組みを行う。

エ インターネット利用サービス

各館にパソコンを設置し、市民がインターネットを利用することができるようにする。

オ レファレンス（調査相談）サービス

市民の困り事や知りたいことを支援するため、求める資料の検索・紹介及び相談業務を行う。

カ 電子図書館サービス

電子書籍の貸出しや地域資料の電子化を進める。

キ 講演会・講座等の実施

時事に関する情報発信や各種講演会、講座等を開催する。

ク 団体貸出サービス

こども園（保育園）、児童クラブ等へ団体貸出を行う。また、希望があれば選書や、予算の範囲内で無料配本のサービスを行う。

ケ 高齢者や身体の不自由な方のためのサービス

拡大読書機を設置したり（中央図書館）、大活字本の収集に努め、高齢者や視覚障がい者等の利用促進を図る。障がい等で来館が困難な方の自宅へ無料配本のサービスを行う。

コ 有料配送サービス

上記「ケ」以外の方に対しても希望があれば有料で配本のサービスを行う。

サ 視聴覚機器、教材の貸出（那覇市立中央図書館）

社会教育団体や、こども園、小中学校、児童館、保育園等へ、視聴覚機器・教材の貸出を行う。

(2) 利用案内 (令和4年 (2022年) 度)

【開館時間】

- 開館：午前9時30分
- 閉館：(平日) 午後7時
(土曜日) 午後6時
(日曜日) 午後5時 ※中央図書館・繁多川図書館は午後6時閉館

【休館日】

- 定例休館 (毎週月曜日) 中央図書館、小祿南図書館、若狭図書館、石嶺図書館
(毎週金曜日) 牧志駅前ほしぞら図書館、首里図書館、繁多川図書館
- 館内整理のための休館 (毎月第3水曜日 ※8月を除く)
- 国民の祝日 (文化の日を除く)
- 慰霊の日
- 年末年始 (12/28~1/4)
- 蔵書点検のための特別整理期間 (年間15日以内)
- そのほか台風や施設修繕等で館長が特に必要と認めるときは、臨時に休館することができる。

【貸出】

- 那覇市に在住・在勤・在学されている方を対象とする。※延滞本がある場合は制限有り
- 貸出期間は2週間 (AV資料は1週間)
- 貸出冊数は貸出期間内に利用できる数 (AV資料は2点以内)、雑誌の最新号は館内での閲覧のみ。
- 電子図書館の貸出冊数は3冊以内

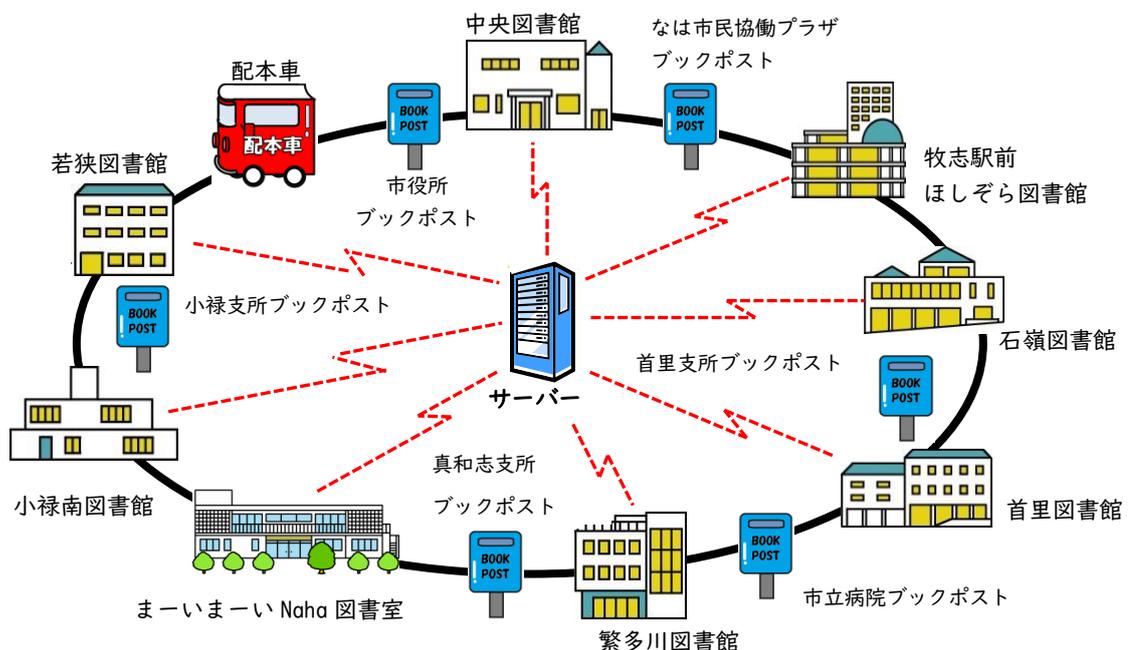
【返却】

- 那覇市立図書館全館、ブックポストで返却可能。
- CD・DVDなど破損しやすい資料は、図書館カウンターで直接返却。
- ブックポスト (返却本回収用ポスト)
各図書館入口、市役所本庁南側入口、首里・真和志・小祿支所、なは市民協働プラザ、那覇市立病院に設置

【図書館サービス網 概略図】

◎配本車 (週3回、各図書館やブックポスト設置所を巡回) …返却本の回収・各館へリクエスト本等の配送、団体貸出配送を行っている。

◎コンピュータネットワーク網…サーバーによる集中管理方式で各館を結ぶ



(3) 那覇市立図書館概要 (令和4年(2022年)度実績)

2023年3月31日現在 奉仕人口 315,539人

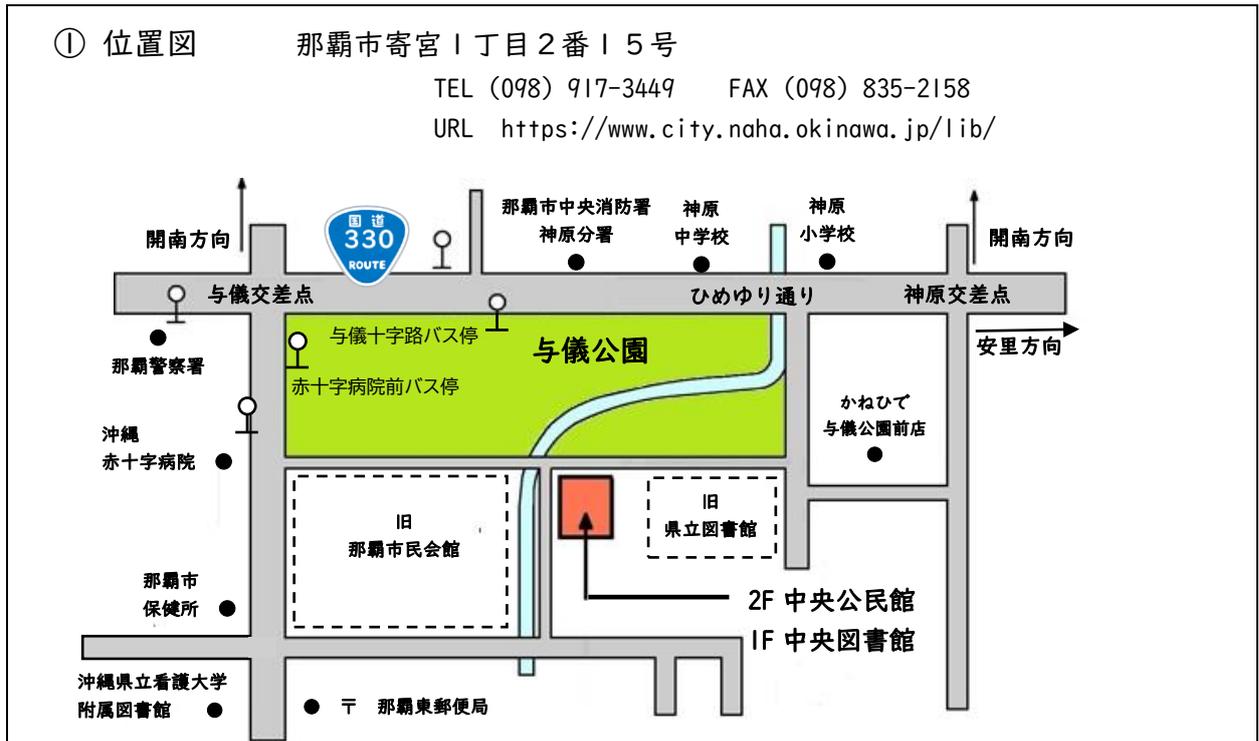
	中央 図書館	牧志駅前ほし ぞら図書館	小禄南 図書館	首里 図書館	若狭 図書館	石嶺 図書館	繁多川 図書館	合計
開館年月日	1975年 8月1日	2011年 7月8日	1983年 6月1日	1984年 3月3日	1992年 6月3日	1996年 6月1日	2005年 4月1日	—
所在地	寄宮1-2-15	安里2-1-1 3F	高良2-7-1	首里当蔵 町2-8-2	若狭 2-12-1	首里石嶺町 2-70-9	繁多川 4-1-38	—
電話番号	917-3449	917-3450	917-3451	917-3452	917-3453	917-3454	917-3455	—
図書館床面積(㎡)	1,078.28	773.17	719.66	525.09	602.99	485.21	739.50	4,923.91
職員数(うち司書数)	16(7)	8(6)	7(5)	7(5)	7(6)	7(6)	1(0)兼務	※52(35)
蔵書冊数 ※一般図書に郷土資料・行政・点字図書・その他、AV資料にデジター図書を含む。								
一般図書	123,201	69,765	53,667	50,227	40,994	44,924	42,186	424,964冊
児童図書	46,655	38,283	32,425	33,999	30,138	31,210	23,106	235,816冊
AV資料	1,259	0	2,011	0	4,368	3,681	4,020	15,339点
合計	171,115	108,048	88,103	84,226	75,500	79,815	69,312	676,119冊
雑誌	5,808	5,922	5,003	4,319	4,221	4,293	3,950	33,516冊
受入冊数 ※一般図書に郷土資料・行政・点字図書・その他、AV資料にデジター図書を含む。								
一般図書	1,187	1,191	1,320	1,129	922	1,070	970	7,789冊
児童図書	439	627	717	488	408	563	493	3,735冊
AV資料	15	0	54	0	60	62	70	261点
合計	1,641	1,818	2,091	1,617	1,390	1,695	1,533	11,785冊
雑誌	750	754	686	734	612	767	625	4,928冊
貸出冊数※ ※令和4年度は種類別の貸出統計が取れず、館毎の年間の貸出冊数とした。								
一般図書								
児童図書								
AV資料								
雑誌								
合計	102,773	139,654	144,299	84,413	57,642	97,879	75,941	702,601冊
一日平均貸出冊数 280日で算出	368	499	515	301	206	350	271	2,509冊
電子図書館	-	-	-	-	-	-	-	21,272冊
開館日数	280	277	280	281	280	275	280	-
有効登録者数※	-	-	-	-	-	-	-	15,405人
・図書資料費 (決算額)：千円	5,144	4,025	4,138	3,365	3,395	3,871	3,679	27,617千円
・電子書籍								2,924千円
※貸出冊数について…令和4年度はサイバー攻撃にあったため、種類別の貸出統計が取れず、館毎の年間の貸出冊数とした。								
※有効登録者数について…サイバー攻撃前の(4月～9月)の有効登録者数の平均値とした。								

(4) 図書館サービス指標 (令和4年(2022年)度実績)

図書館施設 本(中央)館1館、分館6館	奉仕人口 (2023年3月31日現在的那覇市の人口) 315,539人																									
蔵書冊数 (AV含む・雑誌資料を除く) 676,119冊	市民一人あたりの蔵書冊数 (蔵書冊数+電子書籍数/人口) 2.16冊																									
電子書籍数 5,569コンテンツ																										
一年間の貸出冊数 (うち電子書籍) 723,873冊 (21,272)	市民一人あたりの貸出冊数 (貸出冊数/人口) 2.29冊																									
図書資料費 (令和4年度予算額) 27,655千円	市民一人あたりの図書資料費 (図書資料費+電子書籍数/人口) 96.92円																									
電子書籍費 2,926千円																										
令和4年(2022年)度購入図書冊数 (AV含む・雑誌資料を除く) 11,785冊	市民100人あたりの年間増加冊数 (令和4年度増加図書冊数/人口×100) 3.73冊																									
蔵書に占める新規図書比 (雑誌を除く) (令和4年度増加図書冊数/蔵書冊数) 1.74%	蔵書図書の児童書比率 34.88%																									
年間受入雑誌タイトル数 255誌	有効登録者数 (未更新者を除く2022年度平均登録人数) 15,405人																									
登録率 (有効登録者/人口) 4.89%	登録者一人あたりの年間貸出冊数 (貸出冊数/登録者数) 47冊																									
リクエスト・予約件数 109,010件	レファレンス件数～調査件数～ 591件																									
<p> 【相互貸借冊数】 図書館が利用者の求めに応じて、自館に所蔵していない資料を他の図書館から借用して、その利用者に貸し出す方法。(サイバー攻撃により、R4年度の相互貸借の期間は、4月～10月まで)</p> <p> 貸出 428冊 借入 122冊 計 550冊 </p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>館数</th> <th>貸出</th> <th>借入</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内図書館</td> <td>27館</td> <td>424</td> <td>109</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>県内大学図書館</td> <td>4館</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>県外公共図書館等</td> <td>10館</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41館</td> <td>428</td> <td>122</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>		館数	貸出	借入	合計	県内図書館	27館	424	109	533	県内大学図書館	4館	0	4	4	県外公共図書館等	10館	4	9	13	合計	41館	428	122	550
	館数	貸出	借入	合計																						
県内図書館	27館	424	109	533																						
県内大学図書館	4館	0	4	4																						
県外公共図書館等	10館	4	9	13																						
合計	41館	428	122	550																						

3 施設状況・配置図

(1) 中央図書館

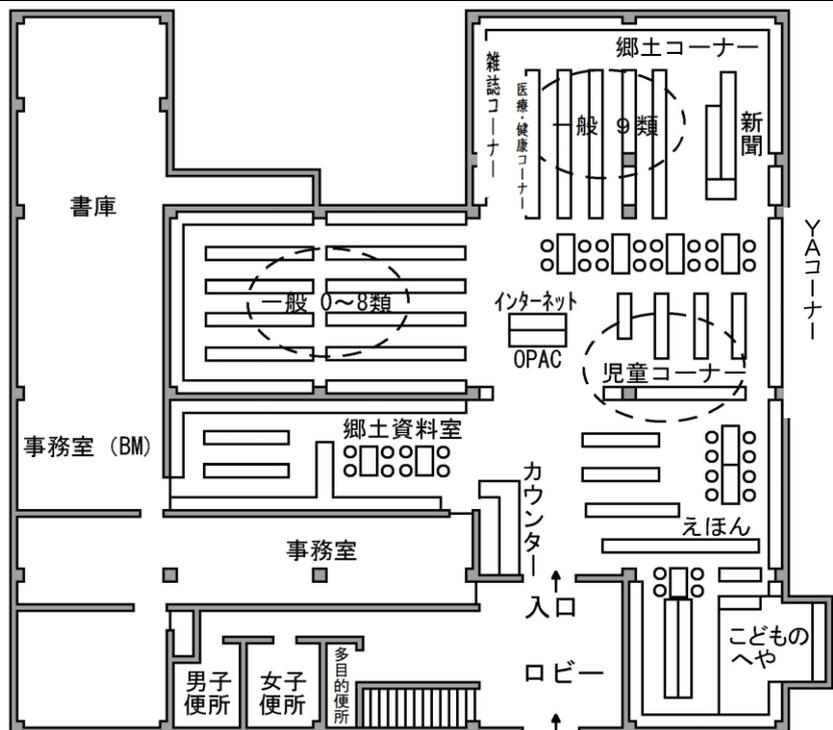


バス停で停留するバス路線 (2023年9月現在)

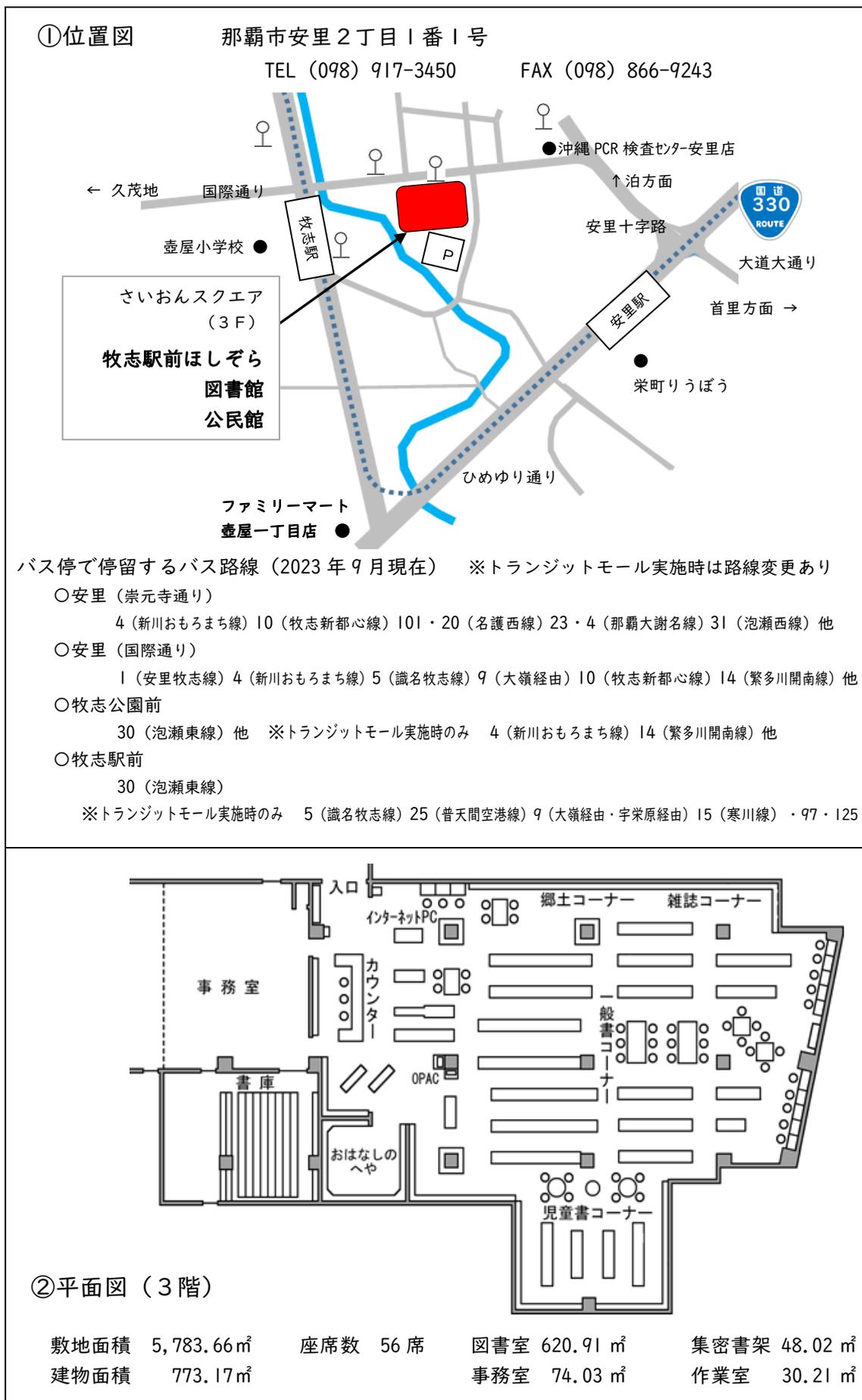
- 与儀十字路 (公園側) 5 (牧志識名線) 9 (大嶺經由・宇栄原經由) 17・30 (泡瀬東線) 31 (泡瀬西線) 他 ※トランジットモール実施時は路線変更あり
- 与儀十字路 (警察署前) 30 (泡瀬東線) 34 (東風平線) 37~39・45・50・51・54 他
- 赤十字病院前 2 (識名開南線) 4 (新川おもろまち線) 14 (繁多川開南線) 35・40・235 他

② 平面図 (1階)

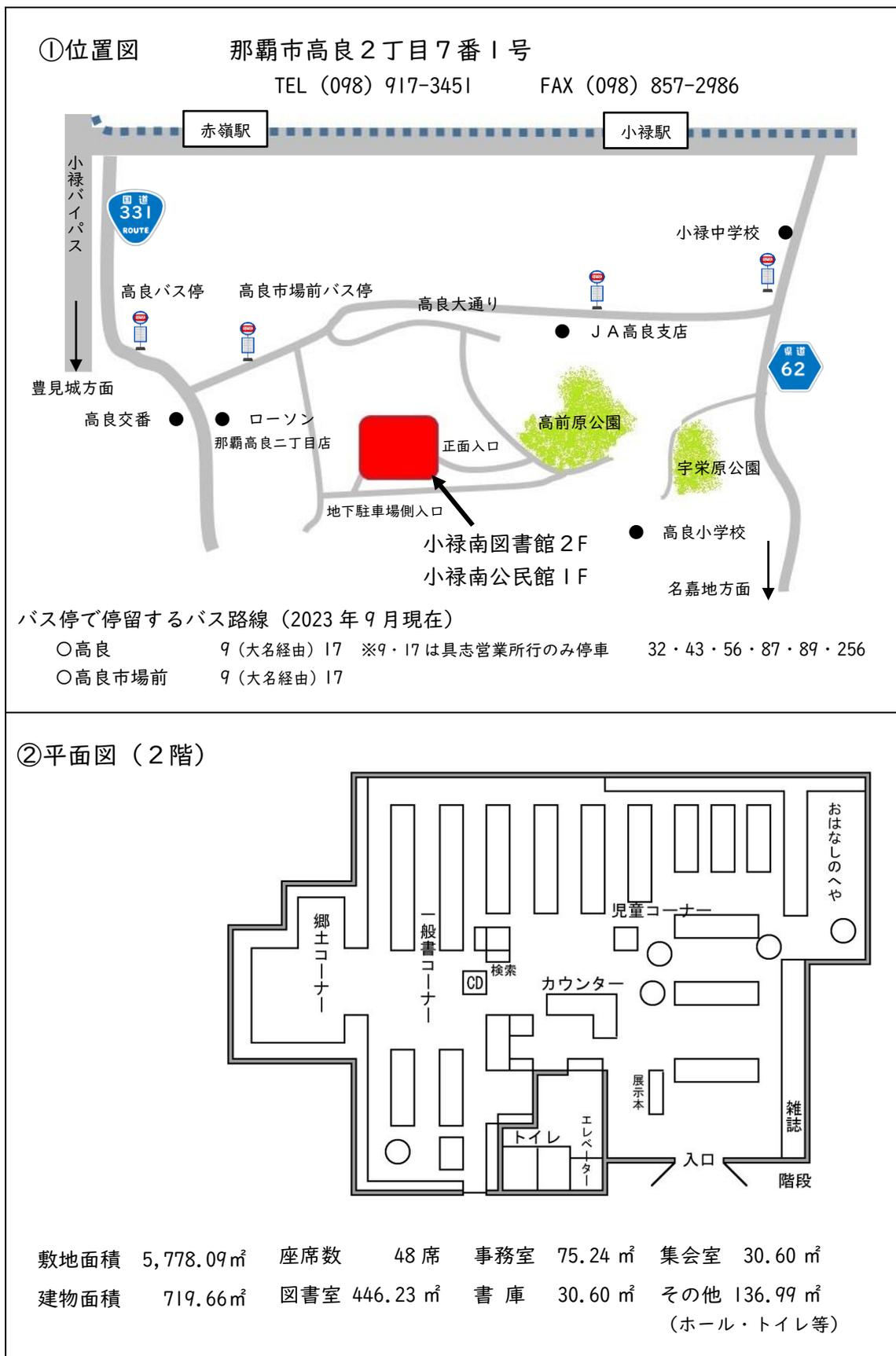
敷地面積	1,703.90 m ²
建物面積	1,078.29 m ²
座席数	40席
図書室	441.82 m ²
事務室	108.00 m ²
書庫	121.35 m ²
視聴覚室	221.09 m ²
その他 (ロビー、トイレ等)	186.03 m ²



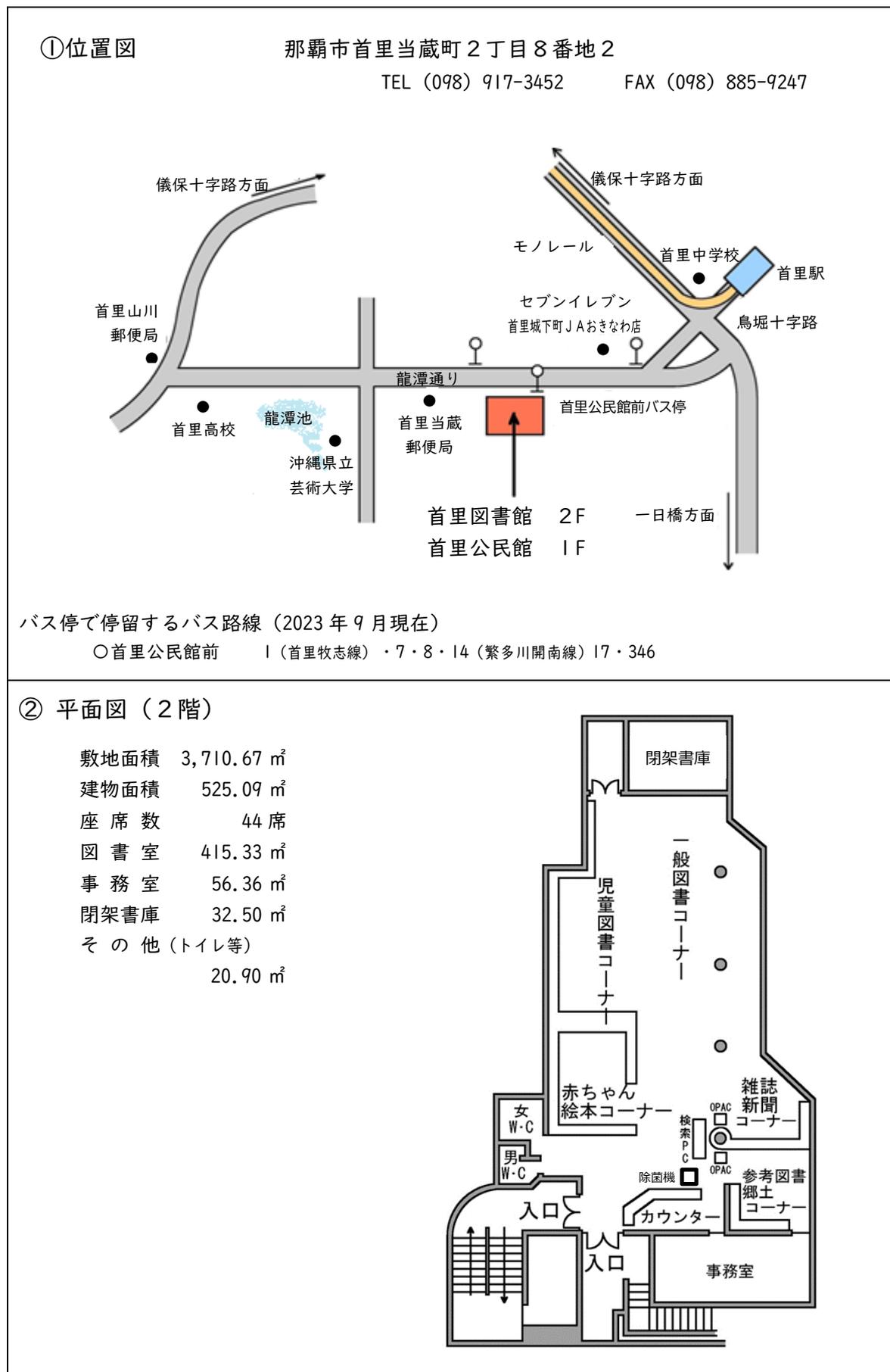
(2) 牧志駅前ほしぞら図書館



(3) 小禄南図書館



(4) 首里図書館



(5) 若狭図書館

①位置図

那覇市若狭2丁目12番1号

TEL (098) 917-3453

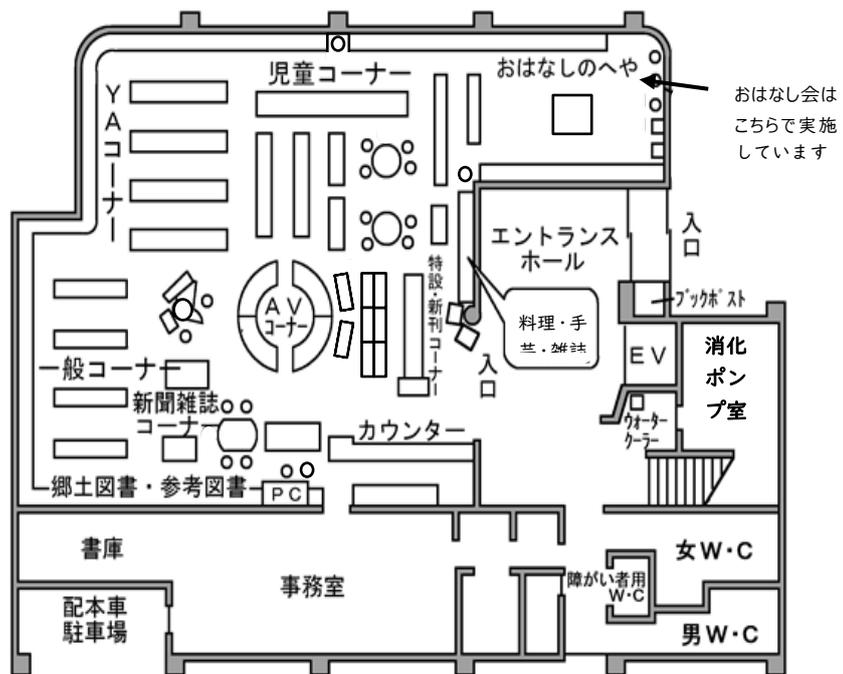
FAX (098) 860-1246



バス停で停留するバス路線 (2023年9月現在)

- 若狭 3 (松川新都心線)
- 久米孔子廟前くめこうしびょう 2 (識名開南線) 3 (松川新都心線) 5 (識名牧志線) 15 (寒川線)

②平面図 (1階)



敷地面積	988.07㎡	座席数	37席	事務室	78.31㎡
建物面積	602.99㎡	図書室	325.56㎡	その他 (エントランスホール・トイレ等)	199.12㎡

(6) 石嶺図書館

①位置図

那覇市首里石嶺町2丁目70番地9

TEL (098) 917-3454

FAX (098) 885-9625

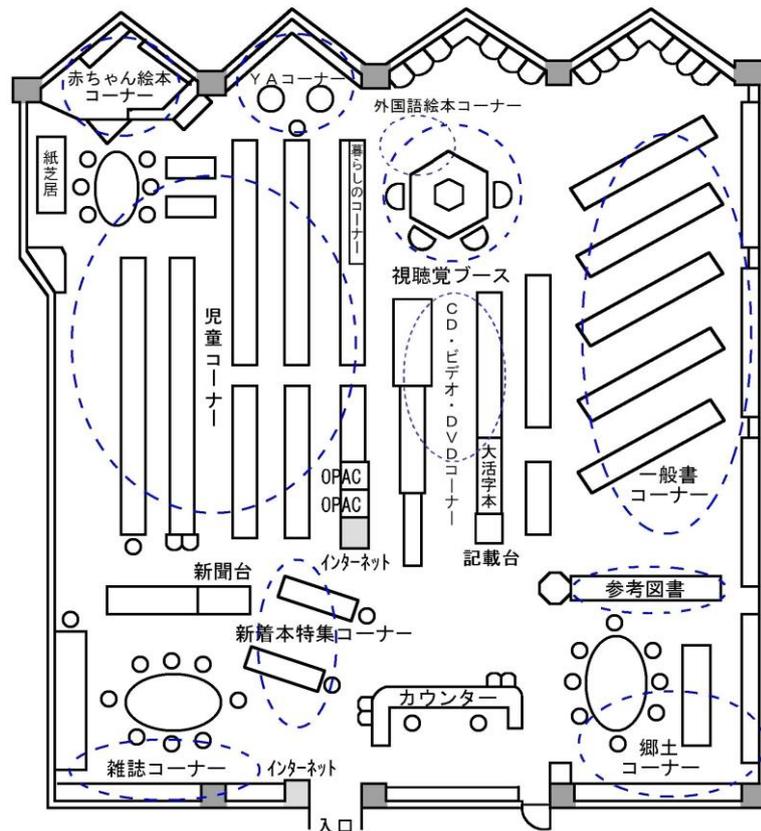


バス停で停留するバス路線 (2023年9月現在)

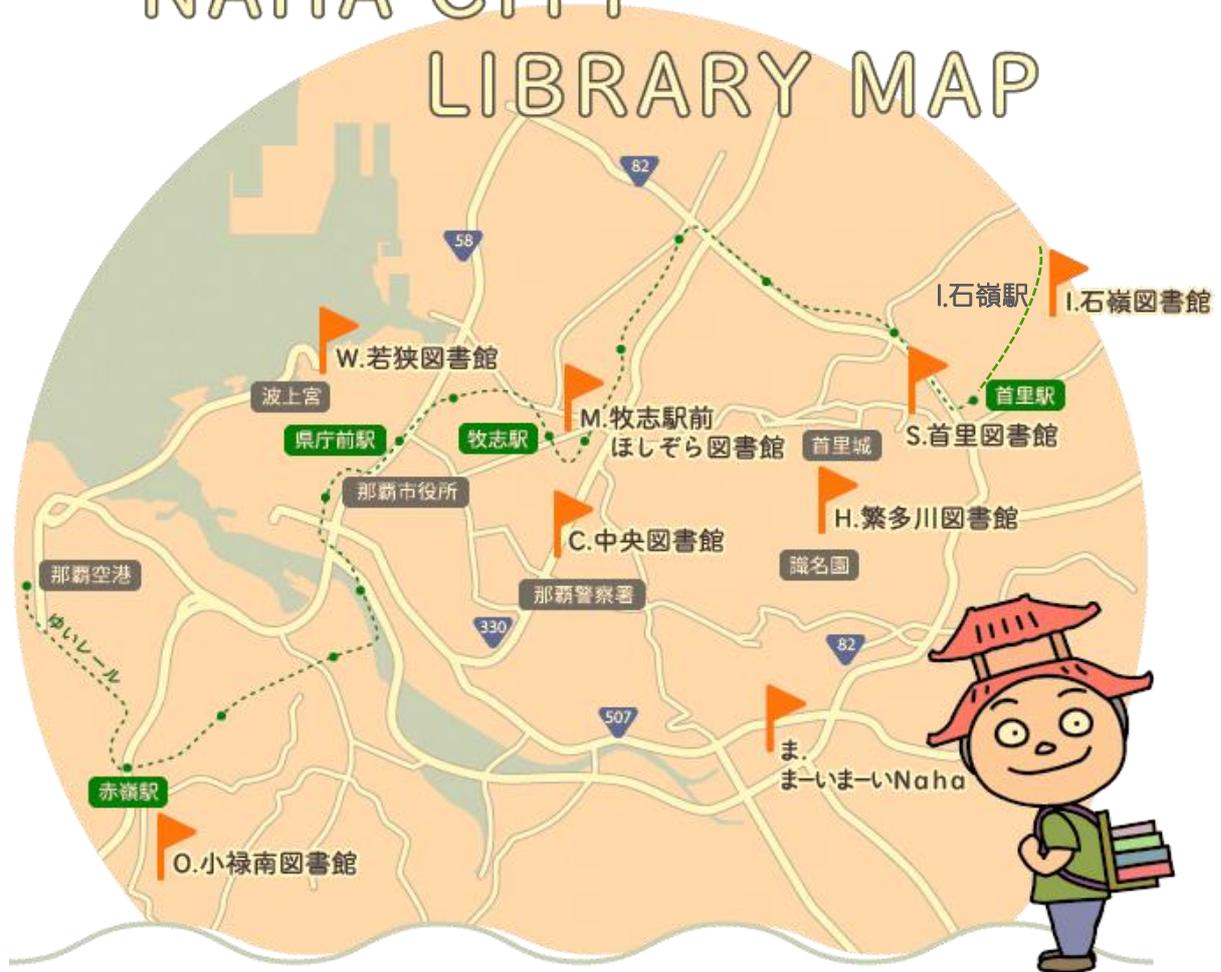
○自治会事務所前 7・8・13・16

② 平面図 (1階)

敷地面積	2,945.38 m ²
建物面積	485.21 m ²
座席数	62席
図書室	391.42 m ²
事務室	52.25 m ²
書庫 (作業室含む)	41.54 m ²



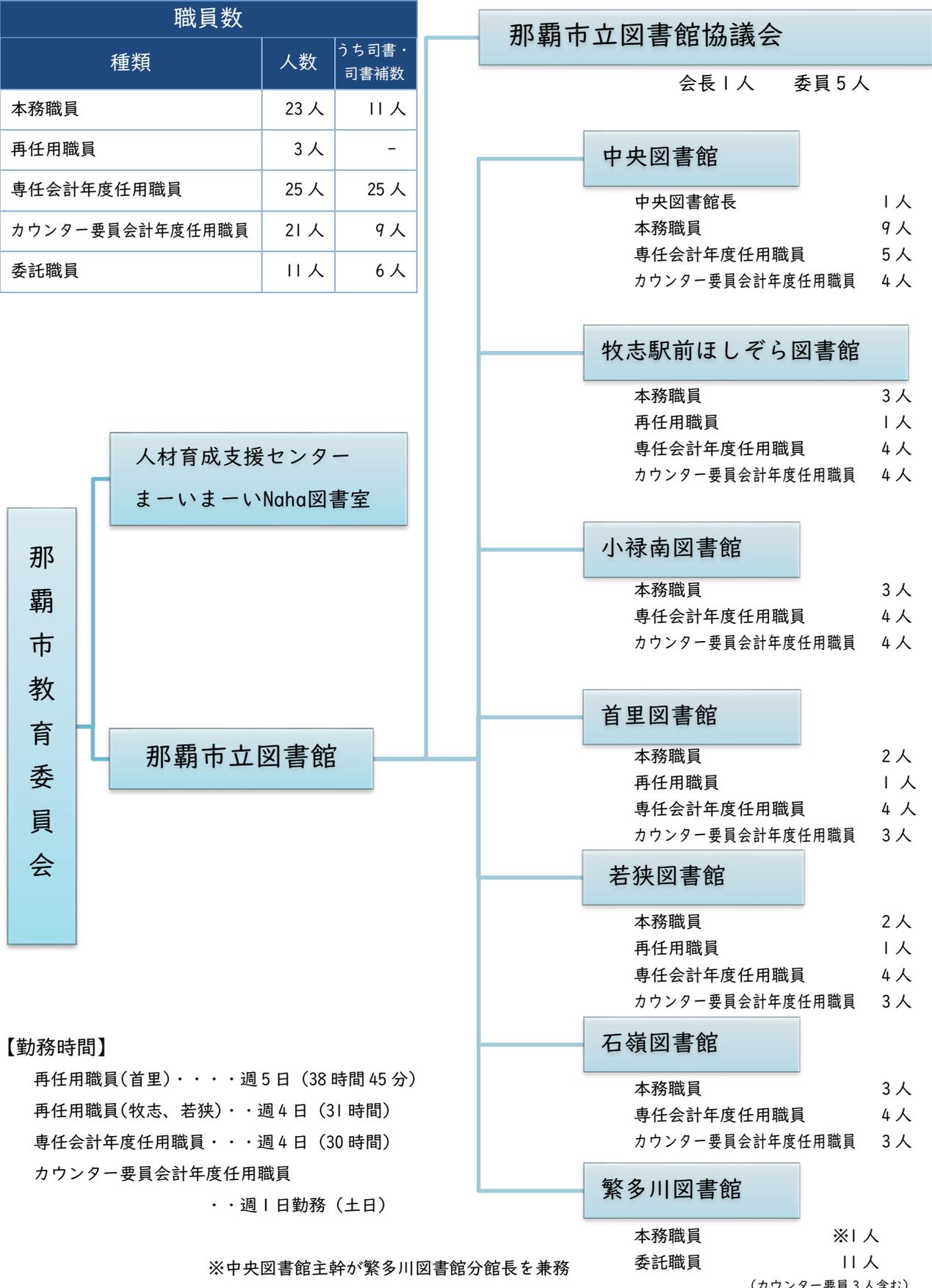
NAHA CITY LIBRARY MAP



- | | |
|----------------|---|
| C. 中央図書館 | 那覇市寄宮1丁目2番15号
TEL(098)917-3449 FAX(098)835-2158 |
| M. 牧志駅前ほしぞら図書館 | 那覇市安里2丁目1番1号
TEL(098)917-3450 FAX(098)866-9243 |
| O. 小禄南図書館 | 那覇市高良2丁目7番1号
TEL(098)917-3451 FAX(098)857-2986 |
| S. 首里図書館 | 那覇市首里当蔵町2丁目8番地2
TEL(098)917-3452 FAX(098)885-9247 |
| W. 若狭図書館 | 那覇市若狭2丁目12番1号
TEL(098)917-3453 FAX(098)860-1246 |
| I. 石嶺図書館 | 那覇市首里石嶺町2丁目70番地9
TEL(098)917-3454 FAX(098)885-9625 |
| H. 繁多川図書館 | 那覇市繁多川4丁目1番38号
TEL(098)917-3455 FAX(098)853-6010 |

4 組 織 (2023年4月1日現在)

職員数		
種類	人数	うち司書・司書補数
本務職員	23人	11人
再任用職員	3人	-
専任会計年度任用職員	25人	25人
カウンター要員会計年度任用職員	21人	9人
委託職員	11人	6人



【勤務時間】

再任用職員(首里)・・・週5日(38時間45分)

再任用職員(牧志、若狭)・・・週4日(31時間)

専任会計年度任用職員・・・週4日(30時間)

カウンター要員会計年度任用職員

・・・週1日勤務(土日)

※中央図書館主幹が繁多川図書館分館長を兼務

5 事務分掌

図書館	<ol style="list-style-type: none">1 図書館奉仕に関すること2 レファレンス及び読書相談に関すること3 図書館資料の購入計画、選書、登録、除籍等に関すること4 図書館資料の保存に関すること5 障がい者のための資料の収集及び宅配サービスに関すること6 寄贈図書を受け入れに関すること7 読書会、おはなし会その他の読書推進事業の主催及びその関係団体の支援に関すること8 他の公共図書館、学校図書館等との図書館資料の相互貸借に関すること9 学校、社会教育関係団体等への視聴覚教材等の貸出しに関すること(中央図書館に限る)10 図書館コンピュータシステムの運営管理に関すること(中央図書館に限る)11 統計及び広報に関すること12 図書館運営の調査研究及び企画に関すること(中央図書館に限る)13 図書館関連要綱等の内規の制定に関すること(中央図書館に限る)14 図書館業務の総括に関すること(中央図書館に限る)15 図書館運営における市民との協働に関すること16 所管する複合施設の維持管理に関すること(中央図書館、若狭図書館及び繁多川図書館に限る)17 その他図書館の設置目的を達成するために必要な事業に関すること
-----	--

6 那覇市立図書館協議会

那覇市立図書館協議会は、那覇市立図書館条例（昭和50年7月11日）により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について館長に対し意見を述べる機関である。

(1) 那覇市立図書館協議会委員

(任期：令和4年6月3日～令和5年8月15日)

氏名	所属・役職名	種別
◎平井 りい子	沖縄女子短期大学児童教育学科 特別任用教授	学識経験者
○呉屋 美奈子	恩納村文化情報センター 認定司書	学識経験者
徳門 敦子	真和志小学校 校長	学校教育関係者
野里 純	開南小学校 司書（～令和5年6月12日まで）	学校教育関係者
玉城 祈子	城北小学校 司書（令和5年6月13日～）	学校教育関係者
浦崎 直己	那覇市社会福祉協議会地域福祉課 主査	社会教育関係者
又吉 綾子	読み聞かせサークル ぶくぶく 代表	家庭教育関係者

◎会長 ○副会長

(2) 那覇市立図書館協議会開催状況 ～令和4年（2022年）度～

ア 令和4年度第1回那覇市立図書館協議会

【日時】令和4年7月1日（金） 午前10時～正午

【場所】那覇市立中央図書館 研修室（2階）

【内容】委嘱状・任命状の交付

報告1 令和3年度那覇市立図書館の事業実績について

議案1 施策の進行管理チェックシートによる評価について

その他 新真和志支所複合施設移転整備に関するアンケート結果について

イ 令和4年度第2回那覇市立図書館協議会

【日時】令和5年2月7日（火） 午後2時～午後3時30分

【場所】那覇市立中央図書館 研修室（2階）

【内容】報告1 令和4年度那覇市立図書館の事業実績について（中間報告）

報告2 令和5年度那覇市立図書館年間計画について

報告3 中核市へのアンケート結果について

7 「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方

2010年10月23日 那覇市立中央図書館長決裁
改定 2015年4月23日 那覇市立中央図書館長決裁
改定 2016年3月24日 那覇市立中央図書館長決裁
改定 2018年2月27日 那覇市立中央図書館長決裁
改定 2020年2月29日 那覇市立中央図書館長決裁

I 那覇市立図書館運営の理念

「市民への質の高い情報提供をめざして」「次代を担う子どもの生きる力を育む」

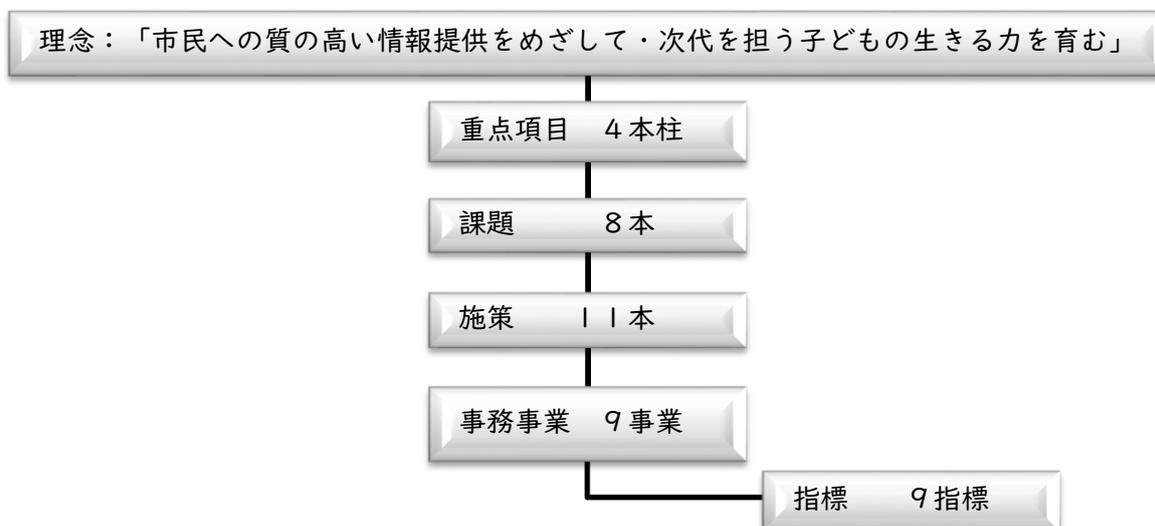
図書館は図書及びその他の資料を収集し、整理・保管して市民生活に必要な情報を提供する施設であり、市民の教養、調査研究活動を援助し、教育と文化の振興の役割を担っています。また、これからの図書館運営は、地域住民・利用者のニーズ及び社会環境の変化に対応した、質の高いサービスが求められています。

第5次那覇市総合計画（2018年度から2027年度）では、図書館運営に関連して、「生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり」の政策実現に向けて、施策「どこでも誰でも生涯学習ができるまちをつくる」が掲げられています。そこで、本市立図書館運営理念として「市民への質の高い情報提供をめざして」と「次代を担う子どもの生きる力を育む」の2つを設定し、この理念実現のため、4つの重点項目を掲げ、8つの課題、11の施策を編成しました（別紙1参照）

II 本市立図書館運営の施策の体系

4つの重点項目と8つの課題、11の施策、9つの事務事業を定め、更に施策に対して「指標」と「めざそう値」を設定しています（別紙2参照）。めざそう値の達成状況等について、点検評価を実施することにより、事業の改善・見直しを図り、本市立図書館運営の理念を実現していきます。

施策の体系図



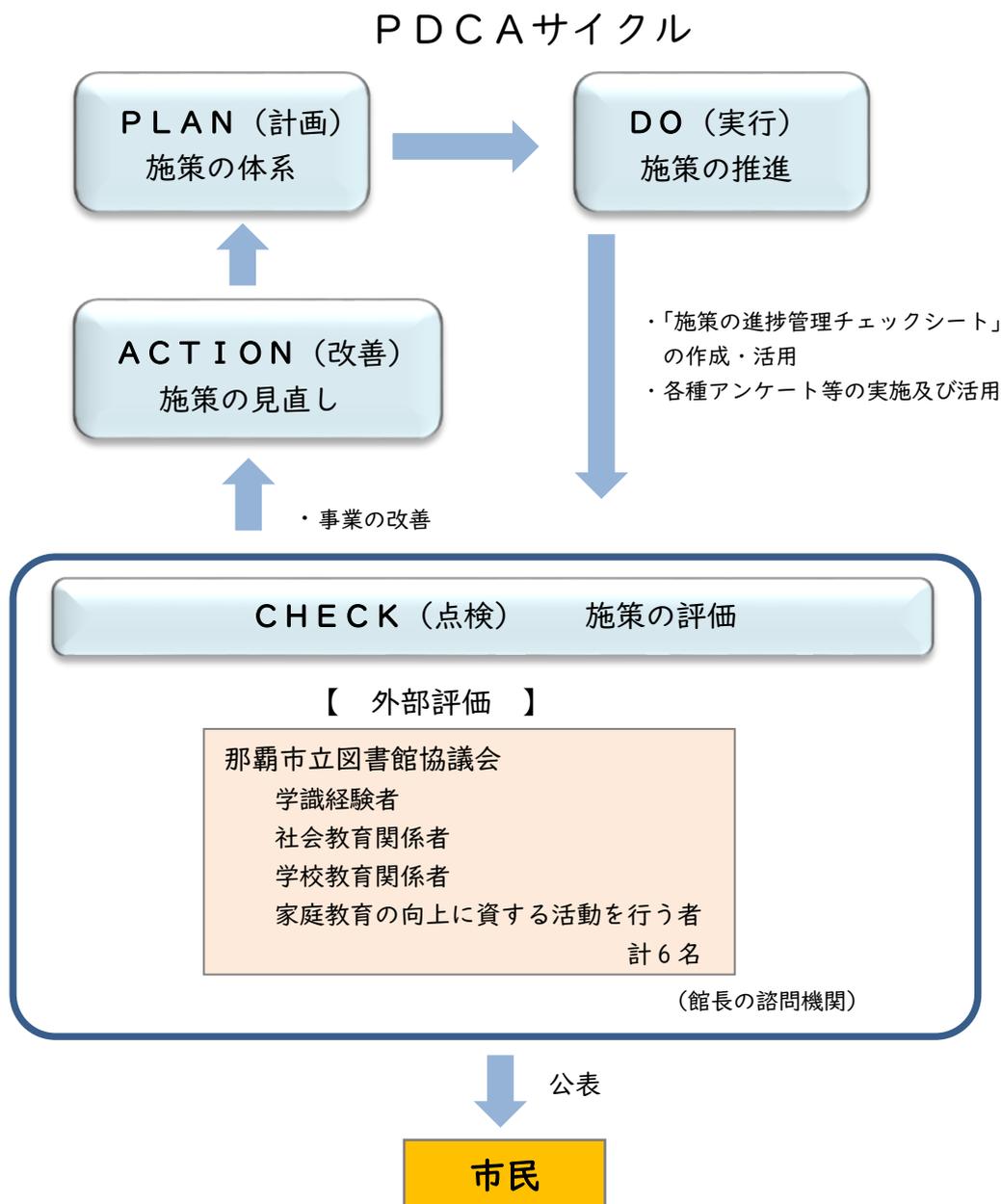
Ⅲ 本市立図書館運営の施策に係る進捗管理

1 点検評価

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理として、9つの「めざそう値」の達成度等を点検評価基準（別紙3参照）に基づき、「施策（事務事業）の進捗管理チェックシート」（別紙4-(1)(2)参照）を活用して、「めざそう（目標）値」の達成度や評価の観点ごとの点数・コメント及び総合評価点数等を踏まえて、点検評価します。

2 進捗管理の手法

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の手法については、下記のPDCAサイクルを活用して実施します。



3 実施結果の公表

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の点検評価の実施結果については、市政情報センターにおいて閲覧に供するほか、図書館ホームページ・館報を通して公表します。

4 進捗管理の期間

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の期間は、2020年度から2024年度までの5年間とします。ただし、めざそう値については、必要に応じて見直すこともあります。

IV 本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の組織体制

1 那覇市立図書館協議会

本市立図書館協議会は、那覇市立図書館条例により設置され、学識経験者、学校教育関係者・社会教育関係者・家庭教育の向上に資する活動を行う者で構成されています。

図書館運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べることができる機関であり、本市立図書館協議会を本市立図書館運営の施策に係る進捗管理にあたる外部機関として位置づけます。

2 事務局（那覇市立中央図書館）

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理作業の事務の統括を行います。

V 本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の実施時期

本市立図書館運営の施策に係る進捗管理の対象である指標ごとの「めざそう値」等の点検・評価は、事業実績が明らかになる翌年度に行います。

○図書館のあるべき姿と課題及び今後の施策

別紙 1

本市の図書館運営の理念実現に向けて、重点項目ごとにこれまで取り組んできた事業の課題及び、今後の有効な施策を次のとおり示します。なお、事務事業については予算措置が必要ない事業も含めて提示しました。

【重点施策の体系】

理念	重点項目	課題	施策	事務事業	指標
市民への質の高い情報提供をめざして・次代を担う子どもの生きる力を育む	I 利用者サービス等	I-1 利用者サービスの充実	I-1-(1) 資料・情報提供サービスの充実	1. 資料・情報提供サービスの推進	①. 来館者数（来館率） ※1人当たりの年間来館数 ②. レファレンス(調査相談) 件数
		I-2 青少年に対するサービスの充実	I-2-(1) 中学生・高校生の読書活動の充実	2. 中学生・高校生の読書活動の推進	③. 中学生・高校生向けの企画実施件数
		I-3 障がい者サービスの充実	I-3-(1) 障がい者サービス用資料の充実	3. 障がい者サービス用資料の貸出の推進	④. デイジー図書貸出数
					⑤. 大活字本貸出数 ⑥. 朗読CD貸出数
	I-4 郷土資料の充実	I-4-(1) 郷土資料の充実			
	II 図書館運営体制	II-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成	II-1-(1) 図書館職員研修の充実	4. 図書館職員研修の実施及び各種研修への参加	⑦. 研修会への参加人数（参加件数）
			II-1-(2) 図書館職員体制の充実	5. 図書館職員体制強化の推進	⑧. 職員の司書有資格者数
	III 図書館の機能強化及び施設整備	III-1 図書館コンピュータシステムの整備	III-1-(1) 図書館コンピュータシステムの整備	6. 図書館コンピュータシステム整備事業（2023年度以降）	
		III-2 図書館の施設整備	III-2-(1) 図書館の改修及び老朽化への対策		
	IV 読書推進のための学習機会の提供	IV-1 読書推進のための学習機会の充実	IV-1-(1) 市立小・中学校との連携	7. 学校図書館との連携強化	
			IV-1-(2) 職場体験等(小中高)の受入	8. 職場体験等(小中高)の受入の推進	⑨. 職場体験等(小中高)の受入件数
			IV-1-(3) 図書館関係団体(ボランティア団体等)との協働による取り組み強化	9. おはなしボランティア団体によるおはなし会・交流会の開催	

指標	単位	めざそう値(年度毎)				
		2020	2021	2022	2023	2024
①来館者数 (来館率)	人数	475,300	476,800	478,300	479,800	481,300
	回数	(1.49)	(1.49)	(1.50)	(1.50)	(1.50)
②レファレンス(調査相談) 件数	件数	1,620	1,660	1,700	1,740	1,780
③中学生・高校生向けの 企画実施件数	件数	3	4	5	6	7
④デジジー図書貸出数	本数	20	22	24	26	28
⑤大活字本貸出数	冊数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
⑥朗読CD貸出数	本数	200	200	200	200	200
	件数	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)
⑦研修会への参加人数 (参加件数)	人数	90	90	90	90	90
	件数	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)
⑧職員の司書有資格者数	人数	43	43	43	43	43
⑨職場体験等(小中高)の 受入件数	件数	60	60	60	60	60

点検評価について

1 評価基準

評価については、達成度、今後の方向性の2つの視点から次表のとおり点数を付します。

点数	達成度	今後の方向性
5	実績値が目標値に達した	総合的な観点から今後事業を拡大充実すべきである
4	実績値が目標値に達していないが、前年度実績を上回った	総合的な観点から今後事業を現状で継続すべきである
3	実績値が目標値に達していないが、前年度実績とほぼ同水準である	総合的な観点から今後事業を改善すべきである
2	実績値が目標値に達しておらず、かつ前年度実績も下回ったが、やむを得ない事情若しくは図書館の努力、創意工夫は認められる	総合的な観点から今後事業を縮小すべきである
1	実績値が目標値に達しておらず、前年度実績も大きく下回った	総合的な観点から今後事業を廃止すべきである

2 総合評価基準

総合評価については、達成度、今後の方向性の合計点数により次表のとおり評価がなされます。

評価	達成度、今後の方向性の合計点数の範囲
A	9点～10点
B	7点～8点
C	5点～6点
D	3点～4点
E	2点

施策（事務事業）の進行管理チェックシート

点検評価の対象年度		年度		別紙 4-(1)										
課 題						主 管 部 課	教育委員会							
施策名							生涯学習部 中央図書館							
事務事業名														
実 績 値 ・ 目 標 値 ・	指 標 名	指標名	目標値	実績値	前年度 実績値	指標名	目標値	実績値	前年度 実績値	指標名	目標値	実績値	前年度 実績値	
点 検 評 価 （ 内 部 ）	評価の観点	評価	総合 評価	内 部 評 価 コ メ ン ト										
	達成度													
	今後の 方向性													

別紙 4-(2)

点 検 評 価 （ 外 部 ）	評価の観点	評価	総合 評価	外 部 評 価 コ メ ン ト								
	達成度											
	今後の 方向性											

8 「めざそう値」の達成度等の点検評価

「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方の点検評価基準（別紙3）に基づき、「施策（事務事業）の進行管理チェックシート」（別紙4-（1）（2）参照）を活用して、「めざそう（目標）値」の達成度や評価の観点ごとの点数・コメント及び総合評価点数等を踏まえて、那覇市立図書館協議会委員で外部評価した。

点検評価事務事業（令和4年（2022年）度分）

課 題	施策名 (チェックシート)	事務事業名	指標名
I-1 利用者サービスの 充実	【1】 I-1-(1) 資料・情報提供サービス の充実	1. 資料・情報提供サービス の推進	①来館者数（来館率） ※1人当たりの年間来館数
			②レファレンス（調査相談） 件数
I-2 青少年に対するサ ービスの充実	【2】 I-2-(1) 中学生・高校生の読書活 動の充実	2. 中学生・高校生の読書 活動の推進	③中学生・高校生向けの企画 実施件数
I-3 障がい者サービス の充実	【3】 I-3-(1) 障がい者サービス用資料 の充実	3. 障がい者サービス用資 料の貸出の推進	④デイジー図書貸出数
			⑤大活字本貸出数
			⑥朗読CD貸出数
II-1 多種多様な市民ニ ーズに対応できる 人材の採用・育成	【4】 II-1-(1) 図書館職員研修の充実	4. 図書館職員研修の実施 及び各種研修への参加	⑦研修会への参加人数（参加 件数）
	【5】 II-1-(2) 図書館職員体制の充実	5. 図書館職員体制強化の 推進	⑧職員の司書有資格者数
VI-1 読書推進のための 学習機会の充実	【6】 VI-1(2) 職場体験等（小中高）の 受入	8. 職場体験等（小中高） の受入の推進	⑨職場体験等（小中高）の受 入件数

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【1】 指標①②

点検評価の対象年度	令和4年度	別紙 4-(1)	
課題	I-1 利用者サービスの充実	主管 部課	教育委員会
施策名	I-1-(1) 資料・情報提供サービスの充実		生涯学習部 中央図書館
事務事業名	1. 資料・情報提供サービスの推進		

施策 (事務事業)	施策の概要等	<p>公共図書館における利用者サービスを充実させるため、図書館奉仕の基本的なサービスである資料・情報提供サービスを推進する。</p> <p>関係法令等 ○図書館法 〈第3条第1項第1号〉 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。 〈第3条第1項第3号〉 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (一)貸出サービス等 市町村立図書館は、貸出サービスの充実を図るとともに、予約制度や複写サービス等の運用により利用者の多様な資料要求に的確に応えるよう努めるものとする。 (二)情報サービス ①市町村立図書館は、インターネット等や商用データベース等の活用にも留意しつつ、利用者の求めに応じ、資料の提供・紹介及び情報の提示等を行うレファレンスサービスの充実・高度化に努めるものとする。 ②市町村立図書館は、図書館の利用案内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービスの充実に努めるものとする。 ③市町村立図書館は、利用者がインターネット等の利用により外部の情報にアクセスできる環境の提供、利用者の求めに応じ、求める資料・情報にアクセスできる地域内外の機関等を紹介するレフェラルサービスの実施に努めるものとする。</p>
--------------	--------	---

実際の成果・効果等	<p>令和4年3月からスタートした電子図書館では、来館しなくても読書が楽しめる環境を整えた。電子図書館にアクセスすることは来館と同意義と捉えられることから、令和4年度から電子図書館アクセス数も加えて来館者数とした。電子図書館ログイン数を加えてもめざそう値未達成となった。</p> <p>来館者の読書意欲が沸くよう、時事的な切り口でのテーマを織り交ぜながら毎月全館で特集展示を行ったりしたが、サイバー攻撃による利用制限等もあり十分な成果が得られなかった。電子図書館ログイン数についてはある程度の成果があったものとする。</p>
-----------	--

事業に要した経費	<p>令和4年度の図書館に関する決算額(正規職員の人件費を除く)..... 164,141,638円 ・うち図書資料費..... 27,616,274円 【新聞・雑誌等】..... 6,063,154円 【一般・児童・郷土・視聴覚資料】..... 21,553,120円 うち図書館コンピュータシステム経費..... 16,448,176円 うち電子図書館サービス経費..... 2,923,581円</p>
----------	---

・指標名・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	① 来館者数 (うち電子図書館) (来館率)	478,300 (1.50)	317,265 (29,913) (0.99)	213,536 (0.67)	②レファレンス (調査相談)件数	1,700	591	589

※来館率：市民一人当たり来館した回数

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	3	B	<ul style="list-style-type: none"> ●サイバー攻撃による利用制限等もあり十分な成果が得られなかった。電子図書館ログイン数についてはある程度の成果があったものとする。 ●レファレンスについては、主に利用者の来館時に受けることが多いため来館者が少なかったことも目標値未達成の要因と考えられる。
今後の方向性	4	<ul style="list-style-type: none"> ●電子図書館利用の促進に加え、図書館を利用したことがない方々へのアプローチに力を入れるため、関係機関に出向いて図書館の利用 PR やレファレンスサービスの周知広報を行う。 ●R5 年度はレファレンスサービスの取組の一つとして、中央図書館と若狭図書館の 2 館で夏休み全期間を通して子どもたちの自由研究等の宿題サポート企画を実施する。 		

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	3	B	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度は「3」とする。コロナ開けとはいえ、しばらく影響がある。今年の夏休みの取組を重視しているのは評価したい。 ・サイバー攻撃の中、サービスを提供したことは評価したい。
今後の方向性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに電子図書館の活用にがんばっていただきたい。 ・電子書籍の貸出に期待したい。 ・レファレンスについては、現在の取り組みでは目標達成できないのではないか。取り組みの改善又は、目標値の下方修正を検討してはどうか。 ・施策に対して、指標が利用数だけなのは残念である。アプローチを評価できる仕組みをつくってみてはどうか。 ・去年までコロナの影響があったので、今年度からはもっと貸出が伸びることを期待する。 ・いろいろなサービスを提供しているので、もっとほかのサービスも見れるように指標を増やしてはどうか。 		

| - 37 - 施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【2】 指標③

点検評価の対象年度	令和4年度	別紙 4-(1)		
課題	I-2 青少年に対するサービスの充実	主管 部課	教育委員会	
施策名	I-2-(1) 中学生・高校生の読書活動の充実		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	2. 中学生・高校生の読書活動の推進			
施策（事務事業）	施策の概要等	スマートフォンやインターネットの普及に伴い、中学生・高校生のヤングアダルト層の公共図書館離れが深刻になりつつあるなかで、活字に触れる機会を増やすとともに本を読む楽しさを再確認してもらえるよう、中学生・高校生の読書活動の充実を図る。		
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携		
実際の成果・効果等	夏休みの中学生・高校生向けお仕事講座や近隣中学校とのコラボ企画で子どもたちが書いたおすすめ本のPOPカードの掲示と紹介本の展示・貸出、首里東高校へ職員が出向いてキャリア教育を実施する等、様々な機会をとらえて中学生・高校生向けの企画を実施した。 ふだんなかなか公共図書館に足を運ぶことが少ない若い世代をターゲットにした取り組みを実施することで、若い世代が公共図書館に興味・関心を持つ機会を提供できた。大幅な貸出UPにはつながらないが、若い世代を少しでも来館につなげることができ、図書館利用のきっかけとなった。			
事業に要した経費	図書館運営事業の行事用消耗品費			
指標名・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	③中学生・高校生向けの企画実施件数	5	8	4

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	<ul style="list-style-type: none"> ●実績値が目標値に達し、前年度実績も上回った。 ●7館中5館で中学生・高校生向けの企画を実施することができた。 ●夏休みのお仕事講座、近隣の中学校とのコラボ企画、高校と連携した取組等多彩な取組を実施することができた。
今後の方向性	4	<ul style="list-style-type: none"> ●継続して中学生・高校生向けの企画を行い、若い世代の図書館利用の促進を図る。 ●なはし電子図書館には、中学生・高校生向けの電子書籍等も揃えているので、電子図書館のさらなる周知に取り組み、中高生の利用につなげる。 		

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、実績値から基準に基づき「5」の評価とした。 ・YA 世代に対して電子図書館からのアプローチは良い。周知に課題がある。 ・中高生の図書館利用はどここの図書館も模索している。 ・指標としては、中高生、年代別の利用状況がわかるデータが良いと思う。 ・公共図書館と近隣の中学校とのコラボなど評価できる。学校からも、公共図書館に寄って、もう少し広げていけたらいい。
今後の方向性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の中学校とのコラボや中高生への電子図書館のアプローチなどいい取組と思う。 ・貸出の分析、中高生がどれくらい図書館に登録して、どれくらい貸出サービスを利用しているかなど統計が取れないか。 ・継続して、地道な取り組みや、周知活動を行ってほしい。 		

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【3】 指標④⑤⑥

点検評価の対象年度	令和4年度	別紙 4-(1)						
課題	I-3 障がい者サービスの充実	主管	教育委員会					
施策名	I-3-(1) 障がい者サービス用資料の充実	部課	生涯学習部 中央図書館					
事務事業名	3. 障がい者サービス用資料の貸出の推進							
施策（事務事業）	施策の概要等	<p>障がいのある方等へのサービスを充実させるため、デジター図書（文字・音声・画像を再生できる電子図書）や大活字本・朗読CD等資料の充実を図る。</p> <p>期待される効果として</p> <p>①障がいのある方々に読書の楽しみを広げていくことができる。</p> <p>②視覚障がいのある方のみならず、学習障がいや知的障がいのある方等にも活用することができる。</p> <p>③文化・情報面のバリアフリー化を推進することができる。</p>						
		<p>関係法令等</p> <p>○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号)</p> <p>第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス)</p> <p>(四)利用者に対応したサービス</p> <p>ウ(障害者に対するサービス) 点字資料、大活字本、録音資料、手話や字幕入りの映像資料等の整備・提供、手話・筆談等によるコミュニケーションの確保、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施</p>						
実際の成果・効果等	<p>◆デジター図書の周知取組</p> <p>○出向いてデジター図書を利用方法説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校(特別支援学級):小学校7校、中学校2校 ・こども発達支援センター ・沖縄県南部療育センター <p>○利用方法等の説明チラシ配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書研修会 ・特別支援学級担当者研修会 <p>◆デジター図書や大活字本等障がい者サービスの周知取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の友へ掲載(R5年1月号) ・特集展示の実施(7館中3館) <p>デジター図書貸出数:48点</p> <p>大活字本貸出数:1,621冊</p> <p>朗読CD貸出数:230点</p>							
事業に要した経費	<p>図書資料費.....27,616,274円</p> <p>うち(デジター図書).....10,000円(受入4点、購入20点)</p> <p>うち(朗読CD).....48,400円(受入1点、購入16点)</p> <p>うち(大活字本).....159,672円(購入81冊)</p>							
指標名・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	④デジター図書貸出数	24	48	35	⑥朗読CD貸出数	200	230	397
	⑤大活字本貸出数	1,500	1,621	1,471				

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	●3つの指標すべてにおいて目標値を達成した。システム障害で10月中旬頃から約3カ月間、一回の貸出点数を「3冊」に制限した。朗読CDや大活字本の貸出数については通常であればもう少し伸ばせたと考える。
	今後の方向性	4		●学校の特別支援学級等へ出向いての周知活動により利用が伸びた。利用した学校から、生徒が楽しんで見ていたとの報告があり、電子黒板を使ってデジター図書を視聴することは有効だと考える。 ●今年度は支援学級に通う児童・生徒の保護者へ案内を行い、自宅でも利用してもらえるよう周知を行う。さらに児童デイサービスの保護者へも周知を広げる。 ●図書館に来館する方に対しても周知の機会を作るため、デジター図書や朗読CD、大活字本等の展示・特集を行う。
【事務局からの提案】 ・目標値について…めざそう値を達成しているため、2023(R5)年度のめざそう値指を変更したい。 ○デジター図書(26⇒50本)、○大活字本(1,500⇒1,630冊)、 ○朗読CD(200⇒400本)				

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	・R5の目標値修正は評価する。特別支援学級などニーズは高いのでさらに推進していただきたい。 ・なかなか対象者が見えないので、もう少し社協や自治体内の福祉部門と連携して進めたらよい。 ・システム障害を受けても、十分な成果が出ている。児童デイに出向くのもよい。できれば専門医療機関の窓口や教員(養護教諭等)研修に組み込めたら良いと思う。
	今後の方向性	5		・目標値の修正については、協議会で承認する。 ・対象者を把握するため、社協や市長事務局の福祉部門との連携が必要である。また、専門医療機関や養護教諭などにも周知してはどうだろうか。 ・課題として対象者の何割ぐらいが図書館の障害者サービスを利用しているのかデータが取れるとよい。 ・本が読みづらい子はたくさんいて、特別支援学級以外にもいる。デジター図書等が身近にあれば、障がいの有無にかかわらず、いろんな子が手に取って広がっていくような工夫ができるよう期待する。次のステップにつながるためこの取り組みが広がってほしい。特別支援クラスから、普通クラスの先生方にも周知を広げる工夫を期待する。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【4】 指標⑦

点検評価の対象年度	令和4年度	別紙 4-(1)		
課題	Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成	主管 部課	教育委員会	
施策名	Ⅱ-1-(1) 図書館職員研修の充実		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	4. 図書館職員研修の実施及び各種研修への参加			
施策 (事務事業)	施策の概要等	<p>司書や一般事務職員に対する研修の企画実施及び他団体主催研修への参加促進等、職員への研修等を充実させ、職員の図書館業務の専門的職務遂行能力を高め多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。</p>		
		<p>関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (二)職員の研修 ①市町村立図書館は、司書及び司書補その他の職員の資質・能力の向上を図るため、情報化・国際化の進展等に留意しつつ、これらの職員に対する継続的・計画的な研修の実施等に努めるものとする。 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館の館長その他の職員の資質・能力の向上を図るため、各種研修機会の拡充に努めるとともに、文部科学大臣及び都道府県教育委員会等が主催する研修その他必要な研修にこれら職員を参加させるよう努めるものとする。</p>		
実際の成果・効果等	<p>コロナ禍でWeb配信(オンライン・オンデマンド)の研修が主流となり、国立国会図書館研修や全国公共図書館研究会などの研修も、Web配信になり複数名受講することができた。 他団体主催のWEB研修にも各自積極的に参加し、図書館職員としての資質・能力を向上させた。</p>			
事業に要した経費	WEB研修受講等のため要した経費なし。			
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑦研修会への参加人数(参加件数)	90(12)	83(17)	76(17)

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	A	●R4年度は参加人数は目標値に満たなかったが前年度を上回った。参加件数は目標値に達した。
	今後の方向性	5		●R5年度は、職員の研修機会の確保を市立図書館の組織目標として掲げ、人事面談等を通して、研修の必要性を伝えていく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度は「4」だが、内部評価の説明を聞くと、オンライン研修を活用すればもう少し増えそうだが、まだまだ工夫ができそうだと思う。 ・職員1～2回程度研修に参加すれば、目標達成できそうだが、職員一人あたりの研修が、年間もっとあってもよさそう。人材育成の面でも研修期待する。
	今後の方向性	4		<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修が充実している中、参加者が少ないのが気になる。(時間に関係なく、研修を受けられるので、目標値を超えられそう) オンラインを活用して、職場内で研修が受けられる工夫をしてほしい。 ・那覇市の図書館は県内で大きな図書館なので、那覇市から毎年出てもいい研修がある。体系的な長期研修などが県外で実施されているので、中堅司書職員育成のため、旅費等の予算措置が必要。 ・職員一人あたりの年間研修参加回数で設定し、キャリアパスも含めて研修の充実をおこなう等、人材育成を期待する。 ・研修参加への予算をもっと確保できたらいい。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【5】 指標⑧

点検評価の対象年度	令和4年度		別紙 4-(1)	
課題	Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成	主管 部課	教育委員会	
施策名	Ⅱ-1-(2) 図書館職員体制の充実		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	5. 図書館職員体制強化の推進			
施策 (事務事業)	施策の概要等	<p>専門職である司書を配置し、管理運営及び職員体制の充実を図ることで、多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。</p>		
		<p>関係法令等 ○図書館法 第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。 3 司書補は、司書の職務を助ける。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (一)職員の配置 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館が専門的なサービスを実施するために必要な数の司書及び司書補を確保するよう、その積極的な採用及び処遇改善に努めるとともに、これら職員の職務の重要性にかんがみ、その資質・能力の向上を図る観点から、第一の四の②に規定する関係機関等との計画的な人事交流(複数の市町村又は都道府県の機関等との広域的な人事交流を含む。)に努めるものとする。</p>		
実際の成果・効果等	レファレンスサービスの対応やサイバー攻撃後のデータ整理など、司書の専門性を発揮した。			
事業に要した経費	特になし			
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑧職員の司書有資格者数	43	45	45

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	●実績値が目標に達した。
	今後の 方向性	4		●司書の情報検索能力をもっと活かせるように、レファレンスサービスの周知やパスファインダーの作成など、その専門性を市民や行政にアピールしていく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実績値が目標に達しているため、「5」の評価だが、目標値「43」の指標の設定がわかりづらい。那覇市の職員数としては、妥当な数字なのか。 ・司書職員の採用はあるのか。図書館に精通した職員の充実のため、採用面での配慮を要望する。
	今後の方向性	4		<ul style="list-style-type: none"> ・司書は図書館の専門職として必要なので、採用を増やしたり人事異動等での配慮を要望する。 ・司書の会計年度と一般職の会計任用職員の給与に差をつけるなど、会計年度任用職員もその専門性を評価した処遇になるよう改善を望む。 ・職員定数「52」が適正なら、そのうち司書が何パーセントという目標に変えた方がわかりやすい(課題)。指標は、人数より定数に対する割合に変更してはどうか。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【6】 指標⑨

点検評価の対象年度	令和4年度	別紙 4-(1)		
課題	IV-1 読書推進のための学習機会の充実	主管 部課	教育委員会	
施策名	IV-1-(2) 職場体験等（小中高）の受入の推進		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	8. 職場体験等（小中高）の受入件数			
施策 （事務事業）	施策の概要等	<p>公共図書館の果たす役割や業務内容を広く理解してもらうため、また子どもの読書活動を継続的に推進するため職場体験の受入を実施する。</p> <p>関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携 (五)多様な学習機会の提供 ①市町村立図書館は、利用者及び住民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座、相談会、資料展示会等を主催し、又は関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催して多様な学習機会の提供に努めるとともに、学習活動のための施設・設備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境の整備に努めるものとする。</p>		
		<p>職場体験・インターンシップは高校、大学及び就労支援施設から計23件、施設見学は近隣小学校やこども園からの依頼を計10件受け入れた。合計33件。</p> <p>職場体験・インターンシップで受け入れた学生の多くが、図書館の仕事がこんなに多くあることに驚いており、実際の体験をすることで職業意識が高まったと喜んでいました。</p> <p>施設見学では主に小学2年生が来館するが、館内の見学、市立図書館の本の冊数や資料の種類の高さに感動している様子が伝わってくる。</p> <p>図書館について知ってもらい、読書推進の取組としてインターンシップ、施設見学受け入れは大切な業務であると感じている。子どもたちや学生が公共図書館について学ぶ機会として今後も継続して取り組んでいく。</p>		
事業に要した経費	事業に要した経費なし			
指標名・目標値・ 実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑨職場体験等（小中高）の受入件数	60	33	11

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	<ul style="list-style-type: none"> ●目標値に達しなかったが前年度実績を上回った。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で、職場体験を見送った学校があった。
今後の方向性	4	<ul style="list-style-type: none"> ●職場体験等を積極的に受け入れし、児童生徒や学生に公共図書館の役割や業務内容を広く理解してもらう機会を提供し、図書館に興味・関心を持ってもらい図書館利用につなげていきたい。 		

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で学校側が消極的になった部分もあるが、今後は積極的に受け入れてほしい。 ・実績数は多いが、各館毎にみると少ない。特に繁多川はインターンシップの受入れが多い。受入れは職員の負担になるが、委託職員のがんばりに評価したい。 ・(課題) ツアーガイド(1日体験)とか取り組むのはどうか。 ・小中学生の受け入れとなっているが、大学生のカウントが入っているのが気になる、整理が必要。 ・目標値に達していないことについて、コロナ禍の影響もありやむを得ない。 ・学校の施設見学数が増えたらいい。将来の利用者につながる。
今後の方向性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験が読書の推進につながる取り組みかどうかは検証が必要。 ・館ごと見ると偏りがあるので、受入れの少ない館は頑張ってもらいたい。 ・受入れにあたって職員の負担もある。実態を反映させるために『受入人数×受入時間』などで評価してはどうか。(どれぐらい時間を費やしたか、が見える指標にしては(課題)) ・将来の利用者につながる可能性があるため、職場体験の受入は継続してほしい。職場見学の受け入れにあたっては、利用者カードを作成するなど次につながるような工夫があるとよい。 		

令和4年（2022年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ

「『那覇市立図書館』運営の基本的な考え方」の施策の進捗管理として、下記のように「指標」と「めざそう値」の設定、評価点検を行ってきた。

2010年度～	指標・めざそう値の達成度等の点検評価を毎年度実施
2015年度	2015年度から2019年度までの指標とめざそう値を新たに設定。
2019年度	2020年度から2024年度までの指標とめざそう値を設定。
2020・2021年度	コロナ禍のため2019・2020年度の外部評価が実施できず内部評価のみ実施。
2022年度	2022年度の「1 資料・情報提供サービスの充実 ①来館者数」に、電子図書館アクセス数を加えて来館者数とした。 2023年度の「3 障がい者サービス用資料の充実」におけるめざそう値は達成したため変更する。

【評価の概要】

令和4年（2022年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ				内部 評価	外部 評価	
指標名	めざそう値	実績値	達成率			
資料・情報提供サービスの充実						
1	①来館者数（来館率）	478,300（1.50）	317,265（0.99）	0.66（0.66）	B	B
	②レファレンス（調査相談）件数	1,700	591	0.35		
中学生・高校生の読書活動の充実						
2	③中学生・高校生向けの企画実施件数	5	8	1.6	A	A
障がい者サービス用資料の充実						
3	④デジター図書貸出数	24	48	2	A	A
	⑤大活字本貸出数	1,500	1,621	1.08		
	⑥朗読CD貸出数	200	230	1.15		
図書館職員研修の充実						
4	⑦研修会への参加人数（参加件数）	90（12）	83（17）	0.93（1.42）	A	B
図書館職員体制の充実						
5	⑧職員の司書有資格者数	43	45	1.05	A	A
職場体験等（小中高）の受入の推進						
6	⑨職場体験等（小中高）の受入件数	60	33	0.55	B	B

令和4年（2022年）度は、サイバー攻撃の影響で貸出制限等もあり、めざそう値を達成した指標は5つ、未達成は4つという結果になった。また、上記の指標・達成度や今後の方向性について、総合評価を実施した。内部評価はA評価が4項目、B評価が2項目、外部評価はA評価が3項目、B評価が3項目、内部評価及び外部評価ともに、C・D・E評価は0項目であった。

【評価の総括】

総合評価において、「B」評価になった「I-I-(1)資料・情報提供サービスの充実」及び「IV-I-(2)職場体験等（小中高）の受入の推進」については、より重点的な取り組みが求められる。また、「指標名②「レファレンス（調査相談）」の件数は、目標値と実績値が大きく乖離しており、外部評価において見直しを示唆されたが、第5次那覇市総合計画との整合性から見直しをしないこととした。

指標以外にも、各委員からの意見として、次のことが挙げられた。

- ・人材育成のため、予算を確保し図書館関連の全国的な研修参加もできるように検討してほしい。あわせて、オンラインの活用による職場内での研修の充実も図っていく必要がある。

- ・子ども達の育成のため、「図書館で調べる学習コンクール」にエントリーしてはどうか。図書館としては、引用の書き方参考文献の表記の仕方を指導し、コンクールに出展することで子ども達の励みになると思う。

- ・また研修や取組を通じて、どんな成果や変化が見れる意識、評価が必要だと思う。

- ・那覇市の図書館として、県立や学校図書館とのすみわけ（ターゲット）はあるのか。那覇市独自でここに力を入れているというのがあるといい→評価しやすくなる。

- ・評価結果に関わらず、指標ごとの課題については、今後も改善に向けて取り組む必要がある。

- ・指標を元に評価しているが、企画・イベント等の取組は手厚いが、それを評価できる指標がないのもったいない。いろいろなサービスを提供しているので、もっとほかのサービスも評価できるように指標を増やしてはどうか。

9 那覇市立図書館予算・決算額（令和2年度～令和5年度）

節区分	令和2年度 (2020)		令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)
	予算額 (千円)	決算額	予算額 (千円)	決算額	予算額 (千円)	決算額	予算額 (千円)
図書館費	166,810	162,378,148	187,151	181,245,245	173,107	162,886,470	180,383
報酬	47,267	46,732,647	49,883	49,158,527	50,994	50,278,563	54,023
職員手当	6,159	6,158,275	8,424	8,411,419	8,725	8,212,646	8,751
報償費	0	0	16	0	142	62,000	142
旅費	1,684	1,387,847	1,974	1,824,293	2,833	1,457,694	2,833
需用費	24,252	23,231,621	26,811	25,985,968	29,681	27,582,818	25,931
消耗品費	9,526	9,501,652	8,778	8,714,701	8,942	8,908,656	8,870
(うち図書費)	(6,198)	(6,182,892)	(6,024)	(6,015,772)	(6,094)	(6,063,154)	(6,111)
燃料費	48	36,724	54	53,340	49	40,238	60
印刷製本費	551	517,000	705	620,400	506	489,291	648
光熱水費	11,070	10,148,527	12,409	11,979,513	15,518	13,494,918	13,699
修繕費(施設等)	2,866	2,865,552	4,681	4,597,054	4,607	4,594,716	2,470
修繕費(備品)	171	141,460	163	0	38	38,000	163
医薬材料費	21	20,706	21	20,960	21	16,999	21
役務費	833	724,508	847	668,836	844	732,516	788
通信運搬費	696	632,952	730	577,280	727	639,210	671
手数料	96	56,100	76	56,100	76	56,100	76
火災保険料	41	35,456	41	35,456	41	37,206	41
委託料	28,899	27,945,522	33,375	29,639,307	32,705	27,662,010	38,510
使用料及び賃借料	20,389	20,218,856	40,757	40,499,345	25,492	25,216,103	27,718
(うち電子書籍)					(2,926)	(2,923,581)	(2,926)
工事請負費	6,380	6,307,240	-	-	-	-	-
備品購入費	30,817	29,542,632	24,935	24,928,550	21,561	21,553,120	21,561
(うち図書費)	(23,514)	(23,506,316)	(23,431)	(23,424,850)	(21,561)	(21,553,120)	(21,561)
負担金、補助金及び交付金	129	129,000	129	129,000	129	129,000	126

10 那覇市立図書館（当初）予算額の推移（令和元年度～令和5年度）

単位：千円

	図書資料費 (合計)	雑誌・新聞・ 逐次刊行物	図書資料・電子書籍				
			小計	一般図書等	児童図書	郷土図書	電子書籍
令和元年度(2019)	29,437	6,135	23,302	16,462	6,460	1,380	-
令和2年度(2020)	29,599	6,164	23,435	15,461	6,460	1,514	-
令和3年度(2021)	29,451	6,020	23,431	15,671	6,460	1,300	-
令和4年度(2022)	30,581 (電子書籍含む)	6,094	24,487	14,250	5,661	1,650	2,926
令和5年度(2023)	30,598 (電子書籍含む)	6,111	24,487	14,250	5,661	1,650	2,926